年　報

第43号　令和７年度

八　戸　市　博　物　館
八戸市史跡根城の広場
八戸市南郷歴史民俗資料館

令和７年度年報発行にあたって

八戸市博物館は、「よみがえる歴史　ひらけゆく未来」をメインテーマに、考古・歴史・民俗の３分野から構成される人文系博物館です。昭和 58 年の開館以来、分野ごとに八戸の郷土史を研究し、理解を深め、発信する事業に取り組み続けています。

現在、当館では館内設備と常設展示のリニューアルのため、令和７年 10 月から休館に入り、設備等の工事に着手しております。また館蔵資料の調査研究は継続して進め、これまでの調査研究の成果を活かして、常設展示のリニューアルに取り組んでまいります。

年間約 22,000 人の来場者がある史跡根城の広場は、北東北の中世城館を没入して体感できる全国屈指の歴史公園です。令和７年度も「さくら Week！」、「史跡根城まつり」、「根城おもしろ講座」といった各種イベントの開催を通じて、根城跡の素晴らしさを発信しました。また、令和２年度から始まった史跡根城跡第２次整備事業では、継続して進めてきた防災設備改修と領主の儀礼空間「主殿」の改修基本設計を完了することができました。主殿改修はこれから実施設計の策定に入り、今後、改修工事が具体的に着手していくことになります。また、令和７年度からは、史跡の修景と市民・来場者の安全確保を目的に広場内の大規模な樹木伐採事業を開始しました。

南郷歴史民俗資料館では、八戸市と南郷村との合併から20周年を記念した特別展「ゆめとあこがれのかたち -戦後日本の玩具-」を開催し、戦後日本において、子どもたちとともに形づくられてきた玩具の文化と流行を紹介し、好評を博しました。また、ミニコレクション展では、収蔵する約１万点の資料の中から「器」に注目し、陶磁器や漆器のほか、かつて南郷でつくられていた籠「世増カコベ」を紹介いたしました。

最後に、当館の博物館活動の推進にあたり、御指導、御鞭撻を頂いております関係各位に厚く御礼申し上げるとともに、現在具体的に着手したリニューアルによって、より良い博物館となるよう努めてまいります。

令和８年６月

八戸市博物館長

小保内　裕之

目　次

八戸市博物館の基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第一部　八戸市博物館

Ⅰ 施設のあらまし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅱ 展示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

1．常設展

2．特別展・企画展

3．特別展開催歴一覧

Ⅲ 教育普及 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

1．小中学校等団体利用状況

2．その他学校等団体利用状況

3．出前授業

4．浜小屋学習

5．講師等派遣

6．催事運営

7．その他の教育普及活動

8．広報・出版活動

Ⅳ 資料管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

1．部門別収蔵資料点数

2．令和７年度寄贈資料

3．所蔵資料指定文化財一覧

4．収蔵資料保存修理と活用

5．保存環境の維持管理

6．資料の利用状況

Ⅴ 調査研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

1．調査実績

2．職員の調査研究活動

Ⅵ 博物館展示等リニューアル事業 ・・・・・・・・31

1．事業概要

2．コンセプト

3．主なリニューアル内容

4．事業スケジュール

5．令和７年度事業実績

6．完成予想図

第二部　史跡根城の広場

Ⅰ 施設のあらまし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

Ⅱ 展示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

1．常設展

Ⅲ 教育普及 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

1．小中学校等団体利用状況

2．指定管理者自主事業

3．その他の教育普及活動

Ⅳ 資料管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

1．保存修理

Ⅴ 根城史跡ボランティア ・・・・・・・・・・・・・・・・・44

1．概要

2．根城史跡ボランティアガイド養成講座

第三部　南郷歴史民俗資料館

Ⅰ 施設のあらまし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

Ⅱ 展示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

1．常設展

2．特別展・企画展

Ⅲ 教育普及 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

1．小中学校等団体利用状況

2．その他学校等団体利用状況

3．催事運営

Ⅳ 資料管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

1．部門別収蔵資料点数

2．寄贈資料

3．資料の利用状況

Ⅴ 調査研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

1．職員の調査研究活動

第四部　運営･資料

Ⅰ 運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

1．博物館組織及び職員構成

2．博物館協議会

3．予算の概要

Ⅱ 資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

1．入館者利用状況

2．条例等

八戸市博物館の基本理念

●八戸市博物館基本理念（昭和58年７月策定）

八戸の風土から生まれ、先人達が守り育ててきた貴重な文化遺産を通じて、豊かな明日を考える。

●八戸市博物館運営基本方針（平成24年７月策定）

１．郷土の歴史や文化を示す資料を収集・保存し、後世に伝えます。（コレクションポリシー）
２．魅力的な展示を通して、郷土の歴史や文化を紹介します。
３．地域の文化を調査・研究し、その成果を郷土の歴史や文化の理解に役立てます。
４．市民や学校と連携し、郷土の歴史や文化を楽しく学べる教育の機会を提供します。
５．博物館活動を広く発信し、身近な博物館を目指します。

第一部　八戸市博物館

Ⅰ　施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 54 年 4 月	博物館建設調査費計上
昭和 55 年 5 月	博物館建設基本構想策定委員会
	(15 名)設置
	第 1 回会議　市長諮問
昭和 56 年 3 月	第 7 回会議(最終会議)
4 月	博物館建設予定地発掘調査
5 月	博物館建設用地決定
7 月	建築・展示実施設計完成
9 月	博物館建設地発掘調査終了
	建設工事着手
昭和 57 年 9 月	建設工事完成
	博物館駐車場予定地発掘調査
10 月	同上調査終了
昭和 58 年 3 月	展示工事完成
	八戸市博物館条例制定
4 月	八戸市博物館協議会設置
	第 1 回会議
6 月	外構工事完成
7 月	15 日　開館
	開館記念特別展「南部武士展」
	開催
令和 7 年　10月	リニューアル事業のため休館

【施設概要】

1．規　　模	敷 地 面 積	7,725.00 ㎡
	建 築 面 積	2,073.16 ㎡
	展 示 室 面 積	738.24 ㎡
	教育普及設備	224.88 ㎡
	収 蔵 庫 面 積	819.09 ㎡
	延 床 面 積	3,767.49 ㎡
2．構　　造	鉄筋コンクリート造	
	一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上２階　塔屋１階	
3．建物設計	株式会社石本建築事務所	
4．建築工事	穂積建設工業株式会社	
5．展示設計	株式会社トータルメディア	
・施　工	開発研究所	
6．建 設 費		1,501,252 千円
	設　計　費	32,800 千円
	本体建築費	694,000 千円
	設備工事費	285,150 千円
	外構工事費	84,520 千円
	展示設計費	8,250 千円
	展示工事費	102,900 千円
	そ　の　他	293,632 千円



Ⅱ．展示

１．常設展　※令和７年10月６日休館前の状況

【考古展示室】



八戸及び八戸周辺から発見された縄文、古代、中世の出土品を展示。縄文時代では土器や貝塚、狩猟や漁撈などの生活道具、装身具などで人びとの暮らしを辿る。古代では、飛鳥時代から平安時代の集落や末期古墳群の出土品を通して、蝦夷と呼ばれた人びとの暮らしを紹介。中世では、八戸発祥の地といわれる史跡根城跡の出土品から当時の地方領主の暮らしを探る。また、「じょうもんの部屋」ではコレクション展示のほか、縄文時代の土器や貝類に触れる体験ができる。

◎展示構成

縄文時代…380点　弥生時代…８点　古代…69点　中世…91点

◎主な展示資料

国重文：「丹後平古墳群出土品」「櫛引遺跡出土品」「薬師前遺跡墓坑出土品」（五戸町所管）
県重宝：「縄文式板状土偶」「縄文式土器」ほか
その他：「長七谷地貝塚出土品」「根城跡出土品」

【歴史展示室】



現在の八戸の基礎となった八戸藩二万石の誕生から明治維新までを、藩主ゆかりの資料や市内旧家に伝わる古文書などで紹介。八戸地方の歴史と産業が江戸を中心とする全国の政治経済とどのように関連し歩んできたか、八戸港の発達の様子や、近年まで常に当地方を脅かし続けた凶作・飢饉の様子とその原因を紹介。

◎展示構成

八戸藩誕生…８点　八戸城…22点　八戸の産業…22点　飢饉と百姓一揆…16点
郷土の先人たち…４点　今渕コレクション…16点　近代の幕開け…２点

◎主な展示資料

「八戸南部家譜」「毘沙門天像(県重宝)」「伏縄目胴丸具足」「八戸城新御殿復元模型」
「八戸藩藩札」「農耕絵馬」「飢饉卯辰簗(複製)」「御九代集写」「八戸城図(写)」
「今渕コレクション」

【民俗展示室】



衣食住や農業・漁業などの生業、信仰の資料で、厳しい風土の中を生きてきた八戸の人びとの生活を紹介。また「昭和の暮らし」のコーナーでは、季節に応じた資料を展示している。

◎展示構成

いろりを囲んで…63点　海に生きる…31点
田畑を耕す…20点　町の商い…23点
祈るこころ…37点　昭和の暮らし…43点

◎主な展示資料

国重有民：「八戸及び周辺地域の漁撈用具」
市 有 民：「神功皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)」
そ の 他：「えんぶりのマネキン」「南部菱刺し」「南部小絵馬」

【無形資料展示室】



八戸に伝わる民謡、昔話、わらべ唄、方言、祭り、芸能、八戸の観光、市内学校の校歌を、映像と共に音声を視聴できる。

◎八戸地方の民謡

南部あいや節、南部追分、おしまこ、八戸小唄、南部俵づみ唄など12曲

◎八戸地方の昔話

猿と蟹の話、かくれ里の話、せんだん栗毛、すねこたんぽこ、からやぎの話など15話

◎八戸地方のわらべ唄

だまこ(お手玉唄)、大波小波(縄跳び唄)、いしきりますか(じゃんけん唄)など12曲

◎八戸地方の方言

浜での会話、夕方のだんらん、親子のかたらい、魚菜市場での会話、商家での会話など 12 話

◎八戸の祭り・芸能、◎八戸の観光、◎校歌

【常設展の展示替え及び展示コーナー】

長期間の展示による資料の劣化防止などの目的から、随時展示替えを行っている。

No.	担当	展示場所	種 別	テーマ	展示資料	期日
1	考古	考古展示室	展示替え	重要文化財「櫛引遺跡出土品」	深鉢形土器 1 点	4.1～

2	歴史	歴史展示室	展示替え	新収蔵資料	鍔、絵図	4.1～7.7
3	民俗	民俗展示室	展示替え	食文化	アカハタモチなどのレプリカ３点	4.25～7.30
4	考古	考古展示室	展示替え	重要文化財「櫛引遺跡出土品」	土器破片一式	5.25～
5	民俗	民俗展示室	展示替え	石田家資料	手ぬぐい５点	5.30～6.27
6	考古	考古展示室	展示替え	八戸城跡出土土偶破片ほか	土偶破片３点	６.25～
7	民俗	民俗展示室	展示替え	石田家資料	手ぬぐい４点	6.27～7.30
8	考古	考古展示室	展示替え	重要文化財「丹後平古墳群出土品」	金装獅噛三累環頭大刀柄頭１点	7.7～
9	民俗	民俗展示室	展示替え	食文化	盆のお供え物レプリカ	7.30～10.6
10	民俗	民俗展示室	展示替え	石田家資料	手ぬぐい７点	7.30～9.11
11	民俗	民俗展示室	展示替え	石田家資料	手ぬぐい４点	9.11～10.6

２．特別展・企画展

リニューアル工事に伴い特別展・企画展は開催しなかった。

３．特別展開催歴一覧

回	年度	名　　称	分野	入館者数	期　間	日数	人/日
1	昭和58	南部武士展	歴史	14,672	7月15日～8月14日	28日	524
2	昭和58	えんぶり～豊作への祈り～	民俗	2,213	1月20日～2月21日	28日	79
3	昭和59	～八戸の南画家～雪焦	歴史	6,725	4月25日～6月10日	41日	164
4	昭和59	土偶～縄文人の祈り～	考古	8,158	7月29日～9月24日	75日	108
5	昭和59	学秀仏～ふるさとの仏像～	民俗	3,682	10月20日～12月 9日	41日	89
6	昭和59	縄文の美～是川中居遺跡～	考古	2,150	1月10日～2月27日	40日	53
7	昭和59	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,926	3月10日～4月10日	25日	77
8	昭和60	津要和尚～足跡と作品～	民俗	5,399	4月27日～6月 9日	35日	154
9	昭和60	東日本の小絵馬～ねがいと祈りの板絵～	民俗	5,383	7月28日～9月23日	49日	109
10	昭和60	縄文時代の馬淵川	考古	2,889	10月10日～12月 8日	49日	58
11	昭和60	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,494	3月16日～4月13日	24日	62
12	昭和61	海のくらしと道具	民俗	4,506	4月27日～6月 9日	33日	136
13	昭和61	東北の土人形	民俗	5,325	7月27日～9月23日	50日	106

14	昭和61	弥生時代～米づくりの始まる頃～	考古	3,072	10月10日～12月 9日	49日	62
15	昭和61	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,162	3月15日～ 4月12日	24日	48
16	昭和62	奥州道中と参勤交代	歴史	4,692	4月29日～ 6月 7日	32日	146
17	昭和62	南部馬と人々のくらし	民俗	5,876	7月26日～ 9月15日	44日	133
18	昭和62	青森県の貝塚	考古	1,992	10月10日～11月29日	25日	79
19	昭和62	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～ 4月10日	22日	45
20	昭和63	市内神社仏閣秘宝展	歴史	3,881	4月29日～ 6月 5日	28日	138
21	昭和63	縄文の漆工芸	考古	3,171	7月31日～ 9月 4日	30日	105
22	昭和63	郷土刀剣展～八戸藩刀工の系譜～	歴史	2,574	10月 9日～11月 6日	24日	107
23	昭和63	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,002	3月13日～ 4月10日	22日	45
24	平成元	八戸俳諧のあゆみ	歴史	3,770	4月29日～ 6月 4日	31日	121
25	平成元	いにしえの東日本～古墳文化をさぐる～	考古	4,270	7月30日～ 9月 3日	30日	142
26	平成元	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,106	3月11日～ 4月 8日	22日	48
27	平成2	ひしざし展～南部女性の美～	民俗	3,460	4月28日～ 5月27日	25日	138
28	平成2	縄文人の世界～縄文後期の生活と文化～	考古	3,374	7月28日～ 9月 2日	30日	112
29	平成2	八戸城下町～城と人びと～	歴史	2,980	10月10日～11月25日	37日	80
30	平成2	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,140	3月10日～ 4月 7日	24日	47
31	平成3	描かれた役者たち～松尾コレクション～	歴史	3,766	4月28日～ 6月 2日	30日	125
32	平成3	八戸の古代～むらの人びとのくらし～	考古	4,329	7月28日～ 9月 2日	29日	149
33	平成3	なつかしの八戸～和井田登寄贈作品より～	民俗	3,702	10月10日～11月17日	32日	115
34	平成3	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月15日～ 4月 5日	18日	30
35	平成4	縄文の美・是川	考古	4,183	4月26日～ 5月31日	30日	139
36	平成4	八戸のイカ釣り～イカの街のルーツを探る～	民俗	3,909	7月26日～ 9月 6日	37日	105
37	平成4	音喜多コレクション	考古	2,220	10月10日～11月15日	30日	74
38	平成4	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	542	3月14日～ 4月 4日	19日	28
39	平成5	伝統の美～ふるさとの文化財～	歴史	4,349	7月14日～ 8月22日	34日	127
40	平成5	ワラと人々のくらし	民俗	2,686	10月 3日～11月 7日	30日	89
41	平成5	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,236	3月13日～ 4月17日	30日	41

42	平成6	ミニチュアでみる世界の台所	その他	6,087	4月29日～6月5日	30日	202
43	平成6	八戸の漁撈用具	民俗	2,995	7月24日～9月4日	37日	80
44	平成6	中世の風景～よみがえる根城～	考古	7,611	9月25日～11月6日	35日	217
45	平成6	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	1,050	3月12日～4月9日	23日	45
46	平成7	八戸の民芸	民俗	4,121	4月29日～6月4日	30日	137
47	平成7	武人たちの魂～八戸をめぐる南部氏たち～	歴史	6,386	7月23日～9月3日	37日	172
48	平成7	新発見考古速報展	考古	7,496	9月23日～10月15日	18日	416
49	平成7	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	751	3月17日～4月7日	18日	41
50	平成8	マヤ文明の遺産展	その他	13,015	4月28日～6月2日	30日	433
51	平成8	昭和30・40年頃の暮らしと遊び	民俗	8,496	7月20日～8月25日	32日	265
52	平成8	先人たちの足跡～八戸を掘る～	考古	2,535	10月5日～11月10日	30日	84
53	平成8	新収蔵資料展	考古/歴史/民俗	4,202	3月16日～6月1日	62日	67
54	平成9	風張遺跡の縄文社会	考古	3,529	7月20日～8月24日	31日	113
55	平成9	今渕コレクション～正太郎・せつ夫妻の世界～	歴史	6,118	9月20日～11月3日	35日	174
56	平成10	子どもの文化史～産育・教育・玩具～	民俗	6,457	7月19日～8月23日	32日	201
57	平成10	武者絵の中の英雄たち	歴史	4,391	9月20日～11月3日	37日	118
58	平成11	青い目の人形～人形から見た昭和の暮らし～	民俗	6,222	7月18日～8月29日	37日	168
59	平成11	草原の国モンゴル～遊牧民の暮らしと歴史・文化～	その他	5,432	9月25日～11月7日	37日	146
60	平成12	日本名刀展～その1000年のながれ平安時代から現代まで～	歴史	5,327	7月16日～8月27日	36日	147
61	平成12	宮廷衣装展～梨本宮家と皇族妃衣装～	その他	9,518	9月23日～11月5日	38日	250
62	平成13	八戸藩～大名の江戸と国元～	歴史	6,683	7月15日～8月26日	37日	180
63	平成13	切手～ニッポンをふりかえる～	歴史	7,990	9月23日～11月4日	37日	215
64	平成14	トイレ今昔～世界と日本のかわや事情～	その他	8,208	7月14日～8月25日	37日	221
65	平成14	江戸からくり人形展～よみがえるテクノロジー～	歴史	9,637	9月22日～11月4日	39日	247
66	平成15	八戸の俳諧	歴史	3,910	5月11日～6月8日	39日	100
67	平成15	大相撲展～八戸市博物館場所～	民俗	6,543	7月12日～8月24日	39日	167
68	平成16	樺太アイヌ民俗誌～工芸に見る技と匠～	その他	4,893	7月17日～8月29日	39日	125
69	平成16	南部氏と根城	歴史	6,237	9月25日～11月7日	39日	159

70	平成17	戦争と八戸市民～苦難とともに～	歴史	6,047	7月 9日～ 8月21日	39日	155
71	平成17	忍者展	歴史	12,185	9月23日～11月 6日	39日	312
72	平成18	吉田初三郎と八戸	歴史	6,098	7月15日～ 8月20日	34日	179
73	平成18	美女は生まれる～江戸美人の化粧術～	歴史	4,119	9月23日～11月 5日	39日	105
74	平成19	江戸 妖怪物語	歴史	13,735	7月21日～ 8月26日	33日	416
75	平成19	鉄道展～地域を拓いて線路は続く～	歴史／民俗	8,961	9月22日～11月 4日	39日	229
76	平成20	学校に行こう～八戸の近代教育～	歴史	4,619	7月19日～ 8月24日	33日	139
77	平成20	はちのへのお寺さん	歴史	6,505	8月24日～9月20日	33日	166
78	平成21	土偶展～東北の北と南～	考古	11,345	6月13日～ 7月26日	38日	298
79	平成21	八戸のみなと	歴史	5,177	9月19日～11月 8日	47日	110
80	平成22	八戸三社大祭展	歴史/民俗	4,000	7月17日～ 8月29日	39日	102
81	平成22	お酒の文化史	民俗	4,874	9月18日～11月 7日	45日	108
82	平成23	昭和の暮らし	民俗	4,129	7月 9日～ 8月21日	44日	93
83	平成23	昭和の家族～絆・きずな～	民俗	5,019	11月 5日～12月18日	39日	128
84	平成24	縄文人の一生	考古	3,360	8月 8日～ 9月17日	38日	88
85	平成24	災害と八戸	歴史/民俗	3,730	10月13日～11月25日	39日	95
86	平成25	世界の鳥のおもちゃ	その他	3,783	7月 6日～ 8月25日	46日	82
87	平成25	三陸～豊かな海の歴史と民俗～	歴史／民俗	3,593	9月28日～11月10日	39日	92
88	平成26	八戸と９人の藩主	歴史	5,608	7月 5日～ 8月24日	47日	119
89	平成26	幕末明治の浮世絵探訪展	その他	4,016	9月27日～11月 3日	34日	118
90	平成27	かつて戦争の時代に～記憶を継承するために～	歴史	3,479	7月11日～ 8月30日	45日	77
91	平成27	八戸フード記～自然・人・食～	民俗	4,160	10月3日～11月15日	39日	106
92	平成28	かっぱ展	民俗	5,420	7月16日～ 8月21日	33日	164
93	平成28	根城のお殿様の手紙	歴史	2,637	10月8日～11月13日	32日	82
94	平成29	キレモノ～八戸市博物館所蔵刀剣資料展～	歴史	4,765	7月 8日～8 月27日	47日	101
95	平成29	米～育てる・食べる・祈る～	考古/歴史/民俗	3,048	10月7日～11月12日	33日	92
96	平成30	エジソンの発明品展	その他	3,652	7月21日～ 8月26日	34日	107
97	平成30	丹後平古墳群と蝦夷の世界	考古	3,132	10月6日～11月4日	26日	120

98	令和元	八戸90年の歩み	歴史/民俗	4,337	7月13日～8月25日	40日	108
99	令和元	クマと生きる～資料でたどる人と熊～	考古/歴史/民俗	4,706	10月5日～11月17日	38日	123
100	令和2	飢渇の郷土史～八戸ケガジ録～	歴史	2,588	7月 4日～ 8月23日	46日	56
101	令和2	暮らしの中の手仕事	民俗	3,495	10月3日～11月23日	46日	75
102	令和3	乱世の終焉～根城南部氏と城～	考古/歴史	2,812	7 月10日～ 8月29日	45日	62
103	令和3	今般廃藩之儀～最後の藩主・南部信順～	歴史	4,240	10月 8日～11月23日	46日	92
104	令和4	ナゲモノ拾いから始まった～ハマの民俗と文化財～	民俗	2,079	7 月 9 日～ 8月28日	45日	46
105	令和 4	透明なうたかた ～ガラスびんに映った近現代～	考古/歴史/民俗	3,057	10月 8 日～11月23日	39日	78
106	令和5	業良キ物～日本刀の歴史と八戸の刀工－	歴史	5,072	7月8日～8月27日	47日	108
107	令和5	J-mode 縄文の流儀	考古	3,797	10月7日～11月26日	44日	86
108	令和6	きらめく八戸 -写真・新聞で見る昭和40年代-	民俗	5,160	7月20日～9月16日	54日	96
109	令和6	境界線上の彼女たち -ねね・鶴姫・南部麻-	歴史	4,419	10月5日～11月24日	45日	98

Ⅲ．教育普及

１．小中学校等団体利用状況（引率者の人数を除く）

当館では、学校の希望に合わせ、学芸員による展示解説や体験学習などを行っている。

体験学習では、火縄銃や古銭などの歴史資料に触れる「歴史資料ハンズオン」、石臼挽きや天秤棒を使った水汲み体験などを行う「昔のくらし」を主に行っている。

令和７年度は、延べ23校658人が利用した。昨年と比べ、小学校から高等学校まで幅広い利用があった。



展示解説



体験学習「昔のくらし」

No.	来館日	学校・学年	人数	内容	職員
1	5.1	八戸市立長者小３年	49	解説・体験	市川・野沢・小林
2	5.15	八戸市立鮫中１年	17	自由見学	
3	6.1	八戸市立白山台小３年	72	解説・体験	野沢・小林・高橋
4	6.11	三沢市立三沢小６年	24	解説・体験	野沢・高橋
5	6.12	三沢市立三沢小６年	24	解説・体験	野沢・高橋
6	6.13	三沢市立三沢小６年	24	解説・体験	野沢・高橋
7	7.2	八戸市立多賀小３・４年	33	解説・体験	野沢・小林・高橋・渡會
8	7.8	田子町立田子小６年	22	解説・体験	野沢
9	8.3	八戸市立第二中１年	3	展示解説	小林
10	8.4	八戸市立第二中１年	8	自由見学	
11	8.24	青森県立八戸中央高等学校通信制課程１～３年	11	解説・体験	野沢・渡會
12	8.27	南部町立福地中２年	2	自由見学	
13	8.27	青森県立八戸中央高等学校通信制課程１～３年	23	解説・体験	市川・野沢
14	9.3	青森県立八戸第一養護学校小学部６年	2	解説・体験	野沢
15	9.11	三戸町立三戸小・斗川小合同３年	52	解説・体験	野沢・小林・渡會
16	9.12	八戸市立湊小３年	24	解説・体験	市川・野沢・小林
17	9.17	階上町立道仏小６年	21	解説・体験	野沢・高橋
18	9.18	八戸市立桔梗野小３年	45	解説・体験	市川・高橋・渡會
19	9.25	八戸市立白銀南小３年	60	解説・体験	市川・野沢・渡會
20	9.25	八戸市立柏崎小６年	87	解説・体験	野沢・高橋・渡會
21	10.2	八戸市立明治小３年	13	解説・体験	野沢・渡會
22	11.20	八戸市立江南小３年 ※リニューアル関連事業によるもの	22	自由見学	小林・高橋・野沢・渡會
23	11.27	八戸市立江南小４年 ※リニューアル関連事業によるもの	20	自由見学	小林・高橋・野沢・渡會
					延べ 23 校　658 人

２．その他学校等団体利用状況

生涯学習に寄与するため、様々な世代に向けた学びの機会の提供を行っている。令和７年度は未就学児や高齢者大学、各種団体等に見学解説を行った。

No.	来館日	団体名	人数	内容	職員
1	5.24	皐月漆の会	20	講話・解説	市川
2	5.30	全国交通運輸労働組合	30	自由見学	

3	6.13	県教育厚生会退職互助部東青支部 文化史跡探訪クラブ	18	解説	市川
4	6.27	ともしび会	42	自由見学	
5	6.29	新しい歴史教科書をつくる会	15	解説	野沢・高橋
6	7.11	移山寮	35	自由見学	
7	7.27	五戸町中市永寿会	20	自由見学	
8	8.1	八戸市産業労政課	6	解説	市川
9	8.3	奥州南部藩視察研修会	29	自由見学	
10	8.4	南部藩ゆかりの都市との交流事業 遠野市少年使節団	26	解説	野沢
11	9.5	八戸市鷗盟大学１年	79	解説	野沢・高橋
12	9.5	東北町ハッピー保育園	13	自由見学	
13	9.13	六ケ所村立郷土館	20	解説	市川
14	10.3	矢沢明朗大学	43	自由見学	
					延べ14団体　396人

３．出前授業

学芸員が小中学校へ出向き、連携を図りながら講座や体験学習を行っている。令和７年度は、「えんぶり」や「昔のくらし」の内容を中心に、10校に出前授業を行った。

No.	期日	学校・学年	内容	職員
1	6.27	八戸市立根岸小４年	八太郎おしまこ 体験	小林
2	7.2	八戸市立北稜中１年	えんぶりの歴史	小林
3	12.12	八戸市立吹上小３年	昔のくらし	小林・渡會
4	1.29	八戸市立西園小３年	昔のくらし・ えんぶり	小林・渡會
5	1.30	八戸市立柏崎小３年	昔のくらし	野沢・高橋 ・渡會
6	2.5	八戸市立田面木小４年	えんぶりの歴史	小林・渡會
7	2.13	八戸市立桔梗野小３年	えんぶりの歴史・ 内容	小林・渡會
8	2.20	新郷村立新郷小３年	昔のくらし	小林・高橋
9	2.25	青森県立八戸聾学校小学部３年・中学部１年	昔のくらし・ えんぶり	小林・渡會
10	2.26	八戸市立多賀台小３年	昔のくらし	野沢・高橋



えんぶり学習



昔のくらし

４．浜小屋学習

博物館が管理している重要有形民俗文化財の浜小屋で、八戸市立大久喜小学校が毎年昔のくらしの体験を行っている。大久喜法師浜漁業民俗保存会が指導役となり、水くみ体験や、昔の生活の話を聞いている。令和７年度は３回実施した。

No.	来館日	学校・学年	人数	内容
1	６.３	大久喜小学校５・６年生	11	漁具を見ながら使い方を教わる。 昔のくらしを聞く。
2	９.２	大久喜小学校３・４年生	8	石仏沢から浜小屋まで水を運び、浜小屋を掃除する。昔のくらしを聞く。浜小屋を水拭き。昔のくらしを聞く。
3	９.５	大久喜小学校１・２年生	7	浜小屋を水拭き。昔のくらしを聞く。



囲炉裏を囲む児童



水汲み体験

５．講師等派遣

令和７年度は、市内外から11件の講師等依頼に基づき学芸員等を派遣した。

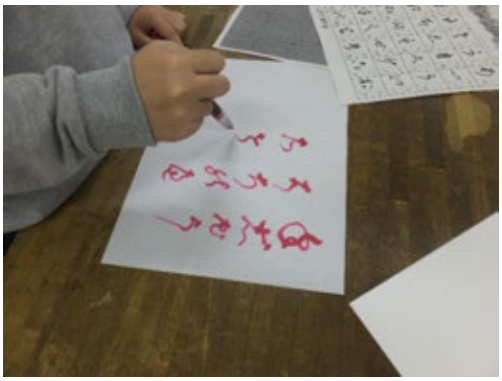
No.	期日	派遣職員	内容等	場所	主催者(依頼者)
1	5.14	野沢学芸員	歴史講座 「幕末の八戸藩」	八戸市立 根岸公民館	八戸市立 根岸公民館
2	5.22	野沢学芸員	講演 「八戸と清心尼」	史跡根城の広場	根城史跡保存会
3	5.24	市川学芸員	講座 「考古学からみえる漆の利用と文化 -縄文時代を中心に-」	当館	皐月漆の会
4	6.22	市川学芸員	講座　テーマ展特別講演会 「土器に渦巻文様が描かれたころ -八戸の縄文世界-」	盛岡市遺跡の学び館	盛岡市遺跡の学び館
5	7.20	中村専門員	講演　根城おもしろ講座 「史跡根城跡の復原整備と活用」	史跡根城の広場	(一財) VISIT はちのへ
6	7.24	市川学芸員	講座　八戸ポータルミュージアム ボランティア研修 「中世南部氏の歴史」	八戸ポータルミュージアム	八戸ポータル ミュージアム
7	7.24	野沢学芸員	講座　八戸ポータルミュージアム ボランティア研修 「南部氏の歴史」	八戸ポータルミュージアム	八戸ポータル ミュージアム
8	9.13	中村専門員	講演　企画展併催講演会 「花巻城本丸御殿の建築」	花巻市総合文化財センター	花巻市総合文化財センター
8	9.25	小林学芸員	講演　浜通り高齢者教室 「なつかしの浜通り」	八戸市立 白銀公民館	八戸市立 白銀公民館
9	11.6	市川学芸員	報告　第49回 全国遺跡環境整備会議 「根城跡における第二次整備事業」	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館	福井県教育委員会
10	11.16	中村専門員	講演　弘前大学国史研究会例会 「三戸代官所の建築 盛岡藩における御仮屋の実態」	弘前大学	弘前大学 国史研究会
11	12.10	下村館長	歴史講座 「南郷の信仰」	八戸市立 根岸公民館	八戸市立 根岸公民館

６．催事運営

（１）博物館クラブ・おとなの博物館クラブ

博物館や八戸の歴史・文化に親しむことを目的として、小中学生とその保護者を主な対象とした体験学習会(博物館クラブ)と、大人向けの体験講座(おとなの博物館クラブ)を実施している。

10月から休館のため、例年より開催回数を減らして実施した。



こもんじょ･ちゃれんじ

No.	開催日	講座内容	講師	対象・定員	参加人数
1	4月29日(火・祝)	こもんじょ・ちゃれんじ	野沢学芸員	小・中学生	2
2	5月3日(土・祝)	かぶとのヒミツ ～戦国武将の紙かぶと作り～	野沢学芸員	小学生以上 6組×2回	8
3	5月4日(日・祝)、 5月5日(月・祝)	赤ちゃん集合！～成長記念に粘土で手形･足形づくり～	市川学芸員 高橋学芸員	0～2才程度の乳幼児 6組×2回	80
4	6月14日(土)	草木染め ～昔の人はどんな色を着ていたの？～	天内みどり氏 (外部講師)	小・中学生 10組	12
5	7月26日(土)	資料の取扱方法 「古文書と古典籍」	野沢学芸員	高校生以上 10人	7
6	8月9日(土)	からくりで動く人形を作ろう ～“動くってどんなこと？～	木工作家 高橋みのる氏 (外部講師)	小・中学生 10組	24
7	8月10日(日)	ガラス工作に挑戦！ ～世界は○△□にあふれてる～	ガラス造形家 石橋忠三郎氏 (外部講師)	小・中学生 10組	20
8	9月13日(土)	染色講座「紅花と紫根」	天内みどり氏 (外部講師)	高校生以上 10人	8
					計　160人

（２）市民のための歴史講座（博図連携事業）

市民への生涯学習の機会を提供するため、博物館及び図書館で共通のテーマによる歴史講座を開催している。連携4年目となる令和7年度は「歴史をカガクする」をテーマに4回実施した。各回定員50人。会場は第1・2回が八戸市立図書館集会室、第3・4回が八戸市総合福祉会館大会議室。



歴史講座の様子

No.	開催日	演題	講師	参加人数
1	6月12日(土)	考古化学から探る人と馬の歴史	帝京大学文化財研究所 教授　植月学　氏	46
2	7月12日(土)	ケガジの原因とこれを救った味噌 -近世・雪腐病の記録と味噌玉はどこから来たか？-	八戸工業大学 工学部工学科 教授　星野保　氏	40
3	11月22日(土)	古文書分析の最前線 -お酒の神様、松尾大社所蔵史料を中心に-	京都芸術大学 芸術学部 教授　野村朋弘　氏	41
4	12月20日(土)	薬と歴史	愛知淑徳大学 食健康科学部 教授　小松一　氏	39
				計　166人

(3)八戸城下めぐり

現在の八戸市中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐり、郷土の歴史・文化に親しむ機会とするため実施している。各回定員15名。



城下めぐりの様子

No.	開催日	ルート	講師	参加人数
1	5月17日(土)	三八城公園(八戸城跡)～おがみ神社～角御殿表門～明治天皇行在所跡～札の辻～堤町～荒町～神明宮	野沢学芸員	15
2	10月18日(土)	三八城公園(八戸城跡)～おがみ神社～角御殿表門～明治天皇行在所跡～札の辻～来迎寺～鳥屋部町～図書館	野沢学芸員	5

（4）小中学生のための城歩き講座「お城へ行こう！」

小中学生を対象に学芸員が根城跡・三戸城跡を詳しく案内し、歴史や当時の暮らしを学ぶ。当館と三戸町教育委員会が共同で開催した。

根城編では、遺跡出土品の観察会も実施し、陶磁器や動物・植物遺存体を実地で解説したほか、陶磁器は手に取って風合いを体感してもらえるように努めた。参加者に根城跡の歴史や当時の暮らしをより身近に感じてもらうことができた。



講座（根城編）の様子

No.	開催日	講座内容	主催・共催	定員	参加人数
1	６月28日(土)	in 根城　～土の城を歩く～	主催：八戸市博物館 共催：三戸町教育委員会	20組	２組５人
2	７月６日(日)	in 三戸城 ～石の城を歩く～	主催：三戸町教育委員会 共催：八戸市博物館	20組	２組５人

７．その他の教育普及活動

（1）博物館実習

令和７年度は、聖心女子大学、中央大学、東京大学、日本大学、宮城学院女子大学、盛岡大学、山形県立米沢女子短期大学の７人の実習生を受け入れた。（大学は五十音順）

実施内容とスケジュールは以下のとおり。

No.	期日	講師	実習内容
1	８月20日(水)	全職員	開校式・オリエンテーション
		実習担当	館の概要説明
		実習担当	施設見学（博物館・浜小屋・南郷歴史民俗資料館等）
2	８月21日(木)	考古部門	史跡整備
		考古部門	考古資料取扱い・関係法令
		館長	館長講話
3	８月22日(金)	歴史部門	歴史資料取扱い
		実習担当	展示実習
4	８月23日(土)	是川縄文館	施設見学・教育普及（是川遺跡クリーンデー等）
5	８月24日(日)	是川縄文館	教育普及（これかわ縄文まつり）
6	８月26日(火)	民俗部門	資料整理・民俗資料取扱い
7	８月27日(水)	実習担当	展示実習
		全職員	閉校式

（２）職場体験

令和７年度は、申し込みがなかったため実施しなかった。

（３）インターンシップ

令和７年度は、申し込みがなかったため実施しなかった。

８．広報・出版活動

（１）情報発信

マスメディアや広報はちのへの定期的な情報発信、さらに八戸市博物館ホームページやX(旧ツイッター)、Facebookを用いて随時の情報発信を合わせて行っている。

八戸市博物館のXアカウントでは、主に催事の案内やリニューアル工事に関する情報を投稿している。

史跡根城の広場のXアカウントでは、日本100名城や御城印に関連する情報発信、南部氏ゆかりの城館と連携した「南部お城めぐり」プロジェクトに関する案内などを投稿している。またFacebookでは、史跡根城の広場の催事の案内を随時行っている。

（２）出版活動

当館が令和７年度に出版した刊行物は以下のとおりである。

名　　称	規格	部数	発行年月日
研究紀要　第 39 号	A4 判，92P，白黒	300 部	2026. 3 .27
博物館だより　No.69	A3,二つ折 A4 判,白黒	530 部	2026. 3 .31

【販売出版物一覧】（令和８年３月31日時点）

図録名	規格	価格	発行年月日
掘り起こされた南部氏の居城－根城－	B5 判，77P，ｶﾗｰ	1,000 円	1989. 3 .31
東日本の小絵馬－ねがいと祈りの板絵－	B5 判，62P，白黒	500 円	1985. 7 .28
東北の土人形	B5 判，66P，白黒	500 円	1986. 7 .27
八戸俳諧のあゆみ	B5 判，34P，白黒	200 円	1989. 6 .10
なつかしの八戸－和井田登寄贈作品より－	A4 判，208P，白黒	2,000 円	1991.10.10
八戸のイカ釣	B5 判，36P，白黒	500 円	1992. 7 .26
音喜多コレクション目録	B5 判，96P，白黒	500 円	1992.11.30
伝統の美－ふるさとの文化財－	B5 判，56P，ｶﾗｰ	500 円	1993. 7 .14

八戸の民芸	B5 判，18P，ｶﾗｰ	500 円	1995. 4 .29
今渕コレクション－正太郎・せつ夫妻の世界－	B5 判，32P，白黒	500 円	1997. 9 .20
子どもの文化史－産育・育児・教育－	A4 判，27P，ｶﾗｰ	500 円	1998. 7 .19
武者絵物語－武者絵の中の英雄たち－	A5 判，40P，2 色	100 円	1998. 9 .17
青い目の人形	A4 判，34P，ｶﾗｰ	500 円	1999. 7 .18
八戸藩－大名の江戸と国元－	A4 判，72P，ｶﾗｰ	1,200 円	2001. 7 .14
八戸の俳諧	A4 判,104P,ｶﾗｰ/白黒	2,000 円	2003. 3 .31
大相撲展	A4 判，58P，ｶﾗｰ	500 円	2003. 7 . 4
南部氏と根城	A4 判，72P,ｶﾗｰ/白黒	2,000 円	2004. 9 .22
戦争と八戸市民－苦難とともに－	A4 判，50P，ｶﾗｰ	800 円	2005. 7 . 9
吉田初三郎と八戸	A4 判，64P，ｶﾗｰ	1,500 円	2006. 7 .15
災害と八戸	A4 判，40P，ｶﾗｰ	700 円	2012.10. 5
三陸－豊かな海の歴史と民俗－	A4 判，56P，白黒	1,000 円	2013. 9 .28
八戸と 9 人の藩主	A5 判,72P,ｶﾗｰ/白黒	1,000 円	2014. 6 .30
八戸フード記－自然・人・食－	A4 判,88P, ｶﾗｰ/白黒	1,000 円	2015.10. 3
絵本　根城の歴史	A4 判，24P，　ｶﾗｰ	500 円	2016.10. 8
八のへの米	A4 判，16P，ｶﾗｰ	500 円	2017.10. 7
八戸の古代	B5 判,44P,ｶﾗｰ/白黒	800 円	1991.8.31(初　版) 2018.5.30(第 2 版)
エジソンコレクションガイド	A5 判，42P，ｶﾗｰ	100 円	2018. 7 .21
なつかしの八戸 II －和井田登寄贈作品より－	A4 判，82P，白黒	1,000 円	2020. 2 .14
飢渇の郷土史－八戸ケガジ録－	A4 判，64P，ｶﾗｰ	1,500 円	2020. 7 . 4
今般廃藩之儀－最後の藩主・南部信順－	A4 判，14P，ｶﾗｰ	300 円	2021. 9 .30 2026.3.31(第 3 版)
乱世の終焉－根城南部氏と城－	A4 判，64P，ｶﾗｰ	1,500 円	2021.11.15
報告書「八戸沿岸の漁撈習俗」改訂再版	B5 判，127P，ｶﾗｰ	1,000 円	2022. 7 . 9
日本刀	A4 判，58P，ｶﾗｰ	800 円	2023. 7 . 8
J-mode 縄文の流儀	A4 判，106P，ｶﾗｰ	2000 円	2023.11. 9
なつかしの八戸Ⅲ－和井田登寄贈作品より－	A4 判，　96P，白黒	1,500 円	2024. 7 .19
境界線上の彼女たち -ねね・鶴姫・南部麻-	A 5 判，112P，ｶﾗｰ	1,200 円	2024.10. 5

Ⅳ. 資料管理

１．部門別収蔵資料点数（令和８年３月31日現在）

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和７年度	2,636	9	382	3,027
総点数	29,932	25,865	51,715	107,511

２．令和７年度寄贈資料（令和８年３月31日現在）

当館では、八戸の歴史や文化を示す資料を収集・保存するため、随時寄贈を受け入れている。

資　料　名	点数	寄　贈　者(敬称略)		寄贈年月日
《考古資料》				
縄文土器 一式	2,636	清水　忠良	八戸市	7.4.1
《歴史資料》				
硯箱	1	杉本　旭	八戸市	7.4.1
刀剣	6	関　マキ	八戸市	7.6.8
脇差	1	福井　富治夫	八戸市	7.8.4
掛軸	1	菅原　達子	宮城県	7.9.28
《民俗資料》				
村井芳雲作三社大祭山車雛形	1	杉本　孝	八戸市	7.4.1
えんぶり烏帽子など	2	豊山　信子	八戸市	7.4.9
八戸海交會会旗	1	髙橋　政典	八戸市	7.4.10
戦争関係資料、白浜青年団資料など	18	神子沢　貞子	八戸市	7.5.14
八戸市教育関係省など	72	見滝　正義	横浜市	7.8.12
名久井由蔵関係写真など	178	赤坂　哲矢	東京都	7.8.14
木挽き道具	33	滝田　茂機	南部町	7.9.27
類家えんぶり組お膳	10	上田　ミナ子	八戸市	7.10.2
白浜地区共有地関係資料	23	神子沢　貞子	八戸市	7.11.9
子安観音及び信仰道具	42	石崎　喜美江	八戸市	7.11.23
書籍	2	留目　恭承	八戸市	8.1.24

３．所蔵資料指定文化財一覧（令和８年３月 31 日現在）

当館では下記の指定文化財を所蔵しており、適正な管理に努めている。

No.	区分	種別	名称	員数	指定年月日
1	国重要文化財	考古	青森県丹後平古墳群出土品	195 点	H30.10.31
2	国重要文化財	考古	青森県櫛引遺跡出土品	83 点	R５.６.27
3	国重要有形民俗文化財		八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋	1,383 点 1 棟	H５.４.15
4	国史跡		根城跡	18,5 ㎡	S16.12.13 H23.２.７
5	県重宝	建造物	八戸城角御殿表門 附棟札・毘沙門天像	３枚１躯	S56.４.18
6	県重宝	工芸	日本刀 銘 奥観寿藤原吉廣	１口	S43.４.５
7	県重宝	工芸	菊牡丹唐草轡十字紋蒔絵漆器	13 点	H18.２.１
8	県重宝	工芸	唐草南部鶴紋蒔絵漆器	12 点	H18.４.19
9	県重宝	工芸	南部鶴紋蒔絵漆器	７点	H18.４.19
10	県重宝	歴史資料	湊家文書	11 通	S47.４.６
11	県重宝	考古資料	縄文式甕形土器	１個	S31.５.14
12	県重宝	考古	鹿島沢古墳群出土品(一括)	63 点	H14.４.17 R６.４.８
13	市有形文化財	建造物	旧八戸城東門	１棟	H５.６.３
14	市有形文化財	工芸	日本刀 銘 精壮齋宗有	１口	S61.２.21
15	市有形文化財	書籍・典籍・古文書	諸国神社仏閣掛所算術	１冊	H14.１.24
16	市有形文化財	歴史資料	和算用算木	１組	S48.１.24
17	市有形文化財	歴史資料	鬼瓦	３個１式	H５.６.３
18	市有形民俗文化財		神巧皇后と武之内宿禰(人形、飾り幕)	２体１枚	H15.７.29
19	市有形民俗文化財		為朝と嶋人(人形、雛形)	３体１枚	H15.７.29

４．収蔵資料保存修理と活用

（１）重要文化財保存修理事業

・重要文化財丹後平古墳群出土品保存修理

平成 30 年に重要文化財に指定された「青森県丹後平古墳群出土品」195 点の中には、刀や鏃などの脆弱な金属製品が多く含まれている。サビにより形状が変化しやすく、経過観察と適切な保存修理を継続して行う必要があるため、令和元年度から国庫補助を得て保存修理事業に着手している。



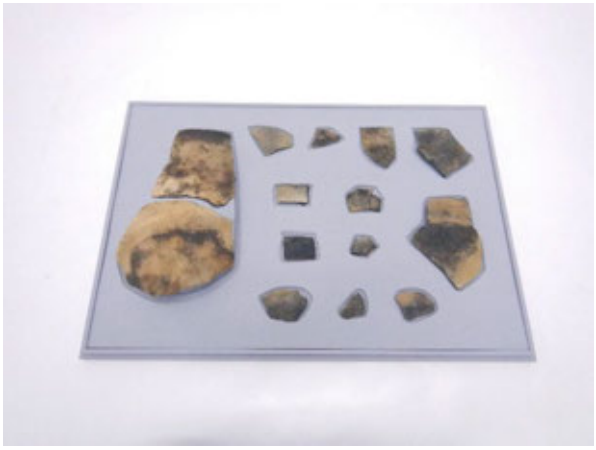
保存修理を行った蕨手刀と作成した安定台

令和７年度は、蕨手刀１点、土師器坏・埦１点の保存修理を業務委託で行った。

・重要文化財櫛引遺跡出土品保存修理

令和５年に重要文化財に指定された「櫛引遺跡出土品」83 点は、縄文時代草創期のものであり、繊細で薄い土器片が多い。脆弱な部分の強化と資料の形状に合わせた安定台と保存箱の必要性から、令和６年度より国庫補助を得て保存修理事業に着手した。

令和７年度は、第１号住居跡出土土器片計 40 点の保存修理及び安定台・保存箱の作成を行った。



保存修理を行った土器片と作成した安定台・保存箱

（２）歴史・民俗資料保存処理

・絵図面補修等作業

「大字櫛引村 地押訂正絵図面 乙号」33 枚

・刀剣研磨等作業

刀２点（無銘、銘「川部儀八郎藤原正秀作／文化八年二月日」）、脇差２点（銘「水心子正秀淬刀刻印／文化十四年二月日　水寒子貞秀鍛之」、銘「精壮斎宗有／文久二年二月日」）

５．保存環境の維持管理

（１）燻蒸

委 託 先：イカリ消毒株式会社 八戸営業所

資料燻蒸：令和８年２月３日(火)～２月 17 日(火)／歴史・民俗資料

（2）昆虫相生息調査

①八戸市博物館・旧中野小学校

期　　間：令和７年４月～令和８年３月末
委 託 先：イカリ消毒株式会社 八戸営業所
実施場所：八戸市博物館、旧八戸市立中野小学校(収蔵庫として使用)
業　　務：①トラップの設置(年 12 回、1 か月ごとに害虫発生状況の報告書を提出)
②消毒剤の散布(4 月～11 月、計８回)
③館内侵入防除の提案

②史跡根城跡本丸主殿

期　　間：令和７年５月～令和８年３月末
委 託 先：イカリ消毒株式会社 八戸営業所
実施場所：史跡根城の広場 本丸内(主殿、工房、鍛冶工房、奥御殿板倉)
業　　務：①トラップの設置(年 12 回、1 か月ごとに害虫発生状況の報告書を提出)
②館内侵入防除の提案

（3）浜小屋管理

①浜小屋管理委託業務

期　　間：令和７年４月１日～令和８年３月 31 日
委 託 先：大久喜法師浜漁業民俗保存会(会長　高橋 信行)
実施場所：八戸市立民俗収蔵庫及び浜小屋(八戸市大字鮫町字大作平 44)
業　　務：①収蔵庫及び浜小屋(重要有形民俗文化財)の清掃作業
②浜小屋の茅葺屋根の防虫・防腐・殺菌を目的とした燻し作業
③草刈り・植栽管理
④施設の保全
⑤火災・盗難防止
実　　績：清掃５回、燻し作業 12 回、草刈り・剪定 10 回、消防設備交換立会い１回

②浜小屋・八戸市立民俗資料収蔵庫看板交換修繕

老朽化した看板を修繕した。耐久性を向上させるため、コンクリート基礎を打ったほか、名勝種差海岸の景観に配慮した配色にした。

修繕完了日：令和７年 12 月 16 日
実 施 場 所：八戸市立民俗収蔵庫及び浜小屋
(八戸市大字鮫町字大作平 44)



浜小屋･八戸市立民俗資料収蔵庫の看板

６．資料の利用状況

（１）写真資料（映像・図版含む）

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	7.4.2	連載「思い出の繁華街」
2	(株)エルソフト	古宮遺跡出土甕・甑	4	写真データ貸与・掲載	7.4.8	大学入試対策用問題資料
3	八戸市社会教育課	和井田登撮影写真	8	写真データ貸与・掲載	7.4.11	『八戸発見ブック　世界の宝!!　八戸三社大祭』
4	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	根城跡遠景写真、田面木平(1)遺跡の写真	2	写真データ貸与・掲載	7.4.22	企画展「堀り day はちのへ」
5	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	7.4.30	連載「思い出の繁華街」
6	史跡根城の広場	「ぶらり戦国マップ」イラスト	2	写真データ貸与・掲載	7.5.16	缶バッジ、消しゴムハンコ
7	六ケ所村立郷土館	歴史展示室の写真	1	写真データ貸与・掲載	7.5.20	事業案内チラシ、情報誌「見聞六 29 号」
8	こなつの会	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・放映	7.5.21	朗読劇「夏の雲は忘れない」
9	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	2	写真データ貸与・掲載	7.5.28	連載「思い出の繁華街」
10	東北放送(株)	黄檗遺跡出土品ほか	6	写真データ貸与・掲載	7.5.28	「世界遺産　縄文」広報用チラシなど
11	(株)PHP 研究所	八戸南部家旧蔵博物標本資料	2	写真データ貸与・掲載	7.5.29	『楽しい調べ学習シリーズ　妖怪大探検！』
12	(株)東京ビデオセンター	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・放映	7.6.3	NHKE テレ放送「ふるカフェ系ハルさんの休日」
13	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	7.7.1	戦後 80 年に関する記事
14	個人	丹後平古墳群出土品	6	写真データ貸与・掲載	7.7.11	『物語のなかの考古学』
15	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	7.7.30	特別展図録「貝へのあこがれ」
16	(株)八戸テレビ放送	八戸の城下地図	1	写真データ貸与・放映	7.7.31	「カルチャースポットはちのへ」
17	再処理企業協議会	常設展示室	4	写真データ貸与・掲載	7.8.7	「かわら版　さいくる」
18	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ貸与・掲載	7.8.6	小学生向け通信教材
19	青森テレビ	トーチカの模型の平面図ほか	10	写真データ貸与・掲載	7.8.14	わっちニュース終戦特集
20	(株)デーリー東北新聞社	尋常小学校教科書復刻版小学国語読本　巻一	1	写真データ貸与・掲載	7.8.21	デーリー東北文化面「戦争と青少年」
21	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	長七谷地 8 号遺跡出土品ほか	43	写真データ掲載	7.8.21	企画展「その土器は三角形▼尖底土器の世界」
22	(株)KADOKAWA	丹後平古墳群全景写真ほか	2	写真データ貸与・掲載	7.9.17	若狭 徹 著『馬と人の古代史』
23	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	7.9.17	連載「思い出の繁華街」

24	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	鳥ノ木沢遺跡出土品ほか	6	写真データ掲載	7.9.19	企画展「その土器は三角形▼尖底土器の世界」
25	北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議広域観光専門部会	史跡根城の広場の写真	1	写真データ貸与・放映	7.9.25	SNS
26	青森テレビ	和井田登撮影写真	3	写真データ貸与・掲載	7.10.22	わっちニュース、「ATV NEWS DIG」
27	南部町教育委員会	史跡根城の広場全景空撮ほか	2	映像データ掲載・放映	7 11.3	町立展示施設での映像解説放映
28	日本放送協会	八戸南部家旧蔵博物標本資料	一式	映像データ放映	7.11.1	歴史探偵「お殿様の秘宝」
29	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	7.11.13	連載「思い出の繁華街」
30	青森テレビ	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・放映	7.11.19	わっちニュース
31	マガジンハウス	メドツ看板ステッカー	1	写真データ掲載	7.11.21	「合本　通いたくなるミュージアム」
32	丸善出版(株)	丹後平古墳群出土品ほか	3	写真データ貸与・掲載	7.12.2	『47 都道府県・古墳百科』
33	南部町教育委員会	影写本　南部師行進上・南部政長譲状	2	写真データ貸与・放映	7.12.10	町立展示施設での映像解説放映
34	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ転載	7.12.10	小学生向け通信教材
35	(株)アフロ	古宮遺跡出土甕・甑	4	写真データ貸与・掲載	7.12.26	大学受験講座日本史問題集
36	(株)柊風舎	えんぶり烏帽子	2	写真データ貸与・掲載	8.1.21	『東北民間信仰辞典』
37	(株)河合出版	古宮遺跡出土甕・甑	4	写真データ貸与・掲載	8.1.28	『2027 年大学入学共通テスト過去問レビュー歴史総合，日本史探究』
38	世田谷美術館	おしらさま	3	写真データ貸与・掲載	8.2.14	展示「偶戯を巡る 2026／オシラサマを巡る旅」
39	NHK 盛岡放送局	江戸時代後期の藩領図	1	写真データ貸与・放映	8.2.25	「おばんですいわて」
40	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	2	写真データ転載	8.3.5	小学生向け通信教材
41	(株)ベネッセコーポレーション	長七谷地貝塚出土品	1	写真データ転載	8.3.5	小学生向け通信教材
42	岩手県立博物館	八戸南部家旧蔵博物標本資料	2	写真データ貸与・展示	8.3.5	企画展「すこやかであるために」
43	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	8.3.11	連載「思い出の繁華街」
44	青森県立美術館	県重宝　縄文式土器	1	写真データ貸与・掲載	8.3.11	企画展「装飾する魂」展
45	八戸市スポーツ振興課	和井田登撮影写真ほか	90	写真データ貸与・掲載	8.3.18	氷都・八戸デジタルアーカイブホームページ
46	(株)バケット	根城跡の写真ほか	6	写真データ貸与・掲載	8.3.27	アプリ「デジタル城下町」
47	(株)デーリー東北新聞社	和井田登撮影写真	1	写真データ貸与・掲載	8.3.31	連載「思い出の繁華街」

（2）実物資料の貸出し

No.	申請者名	資料名	点数	利用法	展示(使用)期間
1	東北歴史博物館	湯浅屋新田(2)遺跡出土品ほか	5	常設展示	7.4.1～8.3.31
2	高岡の森弘前藩歴史館	刀 銘 精壮斎宗有／慶應二年八月日ほか	7	企画展「赤羽刀展」	7.4.5～7.6.22
3	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	根城跡出土品ほか	29	企画展「堀りdayはちのへ―令和５・６年度発掘資料展－」	7.4.26～7.6.22
4	東北歴史博物館	重要文化財　青森県櫛引遺跡出土深鉢形土器	1	特別展「世界遺産 縄文」	7.7.12～7.9.15
5	東北歴史博物館	長七谷地貝塚出土品ほか	13	特別展「世界遺産 縄文」	7.7.12～8.3.8
6	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	重要文化財「青森県薬師前遺跡墓坑出土品」貝輪	9	特別展「貝へのあこがれ」	7.7.12～7.9.7
7	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	長七谷地８号遺跡出土品ほか	43	特別展「その土器は三角形▼尖底土器の世界」	7.10.4～7 11.24
8	遠野市立博物館	三峯山神社御神体ほか	7	企画展「遠野物語と動物－異界・信仰・語り－」	7.10.3～8.1.12
9	個人	制作途中のえんぶり烏帽子ほか	2	授業で使用	8.1.20～8.1.23

（3）資料調査ほか

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	五戸町薬師前遺跡出土貝輪	12	閲覧・写真撮影	7.5.8	特別展に伴う資料調査
2	三内丸山遺跡センター	松石橋遺跡出土品ほか	5	閲覧・写真撮影	7.5.23	特別展に伴う資料調査
3	個人	根城跡出土品ほか	一式	閲覧・写真撮影・サンプリング採取・レプリカ採取	7.6.25～26	研究
4	個人	八戸城跡出土須恵器・坏	1	閲覧・写真撮影・実測	7.8.12	研究
5	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	長七谷地８号遺跡出土品ほか	42	閲覧・写真撮影	7.8.4	特別展に伴う資料調査
6	遠野市立博物館	三峰神社御神体ほか	7	写真撮影・計測	7.8.21	企画展に伴う資料調査
7	個人	黄檗遺跡出土品ほか	一式	閲覧・写真撮影	7.8.29	研究
8	個人	五戸町薬師前遺跡出土人骨	一式	観察・写真撮影・サンプル採取	7.9.8	研究
9	個人	長七谷地貝塚出土品ほか	一式	閲覧・写真撮影・サンプル採取	7.9.9	調査

10	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	鳥木沢遺跡出土品ほか	2	観察・写真撮影	7.9.14	特別展に伴う資料調査
11	個人	黄檗遺跡出土品ほか	264	閲覧・写真撮影	7.9.23	研究
12	三内丸山遺跡センター	石手洗遺跡出土品ほか	15	閲覧・写真撮影	7.9.30	特別展に伴う資料調査
13	日本古札協会	八戸藩藩札	1	閲覧・写真撮影	7.10.19	研究
14	個人	重有民「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」	一式	閲覧・写真撮影	7.10.24～25	調査・研究
15	個人	根城跡出土坏ほか	11	閲覧・写真撮影	7.11.20	研究
18	個人	西町屋文書　信真君賜軍記感状ほか	3	写真撮影	7.11.21	調査・研究
16	青森県立美術館	県重宝　縄文式土器	1	閲覧・写真撮影	7.11.26	企画展開催に伴う資料調査
19	個人	正部家由来記	1	写真閲覧	7.12.3	研究
17	もりおか歴史文化館	紫糸縅胴丸鎧	1	閲覧・写真撮影	7.12.4	企画展開催に伴う資料調査
23	個人	特別展図録「かっぱ展」	1	閲覧	8.2.11	研究
22	個人	万年暦	1	閲覧	8.2.13	研究
20	青森県埋蔵文化財調査センター	見立山(2)遺跡出土品ほか	95	観察・写真撮影	8.3.4	調査
21	個人	五戸町薬師前遺跡出土土器	6	観察・写真撮影	8.3.10	研究
24	国立歴史民俗博物館	五戸町薬師前遺跡出土土器	6	蛍光X線分析	8.3.10	調査
25	個人	田面木平(1)遺跡出土品ほか	一式	観察・写真撮影・サンプル採取	8.3.10	調査

Ⅴ．調査研究

１．調査実績

博物館活動の基礎となる資料充実及び展覧会準備のため、日常的に調査研究活動や資料整理等を行っている。主な調査実績は以下のとおり。

No.	日程	調査内容	調査地	職員
1	7.4.4～11.9(内２回)	寄贈に係る資料調査（戦争関係資料）	八戸市白浜	小林・佐々木
2	7.4.24	寄贈に係る資料調査（ひな人形）	八戸市柏崎	小林・野沢
3	7.6.1	博物館リニューアルに係る撮影（島守神楽・島守小学校神楽）	島守	小林・渡會
4	7.6.8～8.15(内２回)	博物館リニューアルに係る撮影（鮫神楽）	八戸市鮫町	小林・渡會

5	7.6.19 ～8.6(内2回)	寄贈に係る資料調査（カマド等）	八戸市長者	小林・渡會・佐々木
6	7.7.1	博物館リニューアルに係る撮影 （笹ノ沢神楽・茅の輪祭）	神明宮	小林・渡會
7	7.7.6～7	博物館リニューアルに係る撮影 （白銀四頭権現神楽）	三嶋神社	小林・渡會
8	7.7.21	寄贈に係る資料調査（長持）	八戸市根城	野沢
9	7.7.26	常設展示替えに係る撮影 （湊橋八戸小唄祭り）	八戸市湊・小中野	渡會・高橋
10	7.8.1～2	博物館リニューアルに係る撮影 （八戸三社大祭）	八戸市中心街	小林・渡會
11	7.8.8～12	圓子家文書調査	五戸町	野沢
12	7.8.14 ～8.16(内2回)	寄贈に係る資料調査 （名久井由蔵関係写真）	八戸市博物館	渡會
13	7.9.9	寄贈に係る資料調査 （類家えんぶり組お膳）	八戸市青葉	小林・佐々木
14	7.9.27 ～10.28(内2回)	寄贈に係る資料調査（木挽き道具）	南部町片岸	渡會・佐々木
15	7.10.15	寄贈に係る資料調査（行政文書）	八戸市是川	小林・野沢
16	7.10.18 ～11.23(内2回)	寄贈に係る資料調査（子安様）	八戸市櫛引	渡會・佐々木
17	7.10.22～	寄贈に係る資料調査（糠塚不動尊）	八戸市長者	小林・渡會・佐々木
18	7.10.31	依頼による資料調査（仏像）	八戸市旭ヶ丘	小林・佐々木
19	7.11.15	寄贈に係る資料調査（イタコ道具）	八戸市小中野	渡會・小林・佐々木
20	7.11.26	寄贈に係る資料調査（是川新山神社）	八戸市是川	野沢・小林
21	7.12.17	寄贈に係る資料調査（縄文土器）	八戸市櫛引	市川
22	7.12.19	共同研究に係る分析調査 （丹後平古墳群出土品）	東北大学総合学術博物館	小保内・市川
23	8.1.14	寄贈に係る資料調査（掛軸）	八戸市博物館	野沢
24	8.2.5	博物館リニューアルに係る撮影 （八太郎えんぶり組）	八戸市八太郎	小林・渡會
25	8.2.6	博物館リニューアルに係る撮影 （八皿）	八戸市田面木	渡會
26	8.2.11	博物館リニューアルに係る撮影 （妻神えんぶり組）	八戸市是川	小林・渡會
27	8.2.16～19	博物館リニューアルに係る撮影 （えんぶり）	八戸市中心街他	小林・渡會
28	8.2.19～2.23	圓子家文書調査	五戸町	野沢
29	8.3.13	共同研究に係る分析調査 （丹後平古墳群出土品）	青森県産業技術センター八戸工業研究所	市川・高橋

２．職員の調査研究活動

小保内　裕之（館長・考古学）

【執筆活動】

- 「考古資料からみた根城の始まりと前史」『史跡根城の広場開場 30 年記念シンポジウム 根城・再考Ⅳ～根城の始まり～資料集』（令和 7 年 10 月 25 日発行）
- 「八戸湊家文書について」『根城通信（第 43・44 合併号）』（令和 8 年 3 月 31 日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- 事例報告「考古資料からみた根城の始まりと前史」『史跡根城の広場開場 30 年記念シンポジウム 根城・再考Ⅳ (八戸市博物館)』於八戸市総合福祉会館（令和 7 年 10 月 25 日）

【他機関からの委嘱など】

- 青森県立郷土館協議会委員

市川　健夫（主査兼学芸員・考古学）

【執筆活動】

- 「十和田火山を給源とする降下テフラと縄文時代早期の遺跡 -馬淵川・新井田川流域を中心に-」『科学研究費補助金基盤研究(B)「縄文時代前半期における火山災害・古環境変動への地域適応史の解明」研究集会　北日本における『縄文化』とは何か -地域適応とそのリスク- 』（令和 7 年 6 月 27 日発行）
- 「根城跡における第二次整備事業」『第 49 回 全国遺跡環境整備会議 「史跡整備の現状と課題 3 -中世遺跡を中心に-」資料集』（令和 7 年 11 月 5 日発行）
- 「松ヶ崎遺跡の廃屋墓から出土した貝・獣骨の年代」『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）共著
- 「荒谷遺跡土器付着炭化物の年代測定と脂質分析」『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）共著
- 「X 線 CT による丹後平古墳群出土蕨手刀の構造解析」『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）共著

【研究発表・講座・講演など】

- 講座「考古学からみえる漆の利用 -縄文時代を中心に-」『皐月漆の会研修』於八戸市博物館（令和 7 年 5 月 24 日）
- 研究発表「八戸市松ヶ崎遺跡の廃屋墓 -出土人骨の鑑定と理化学分析-」『令和 7 年度青森県考古学会総会・研究発表会』於青森県総合社会教育センター（令和 7 年 6 月 21 日）連名
- 講演「土器に渦巻文様が描かれたころ -八戸の縄文世界-」『盛岡市遺跡の学び館 令和 7 年度テーマ展特別講演会』於盛岡市遺跡の学び館（令和 7 年 6 月 22 日）
- 研究発表「十和田火山を給源とする降下テフラと縄文時代早期の遺跡 -馬淵川・新井田川流域を中心に-」『科学研究費補助金基盤研究(B)「縄文時代前半期における火山災害・古環

境変動への地域適応史の解明」研究集会　北日本における『縄文化』とは何か -地域適応とそのリスク-』（令和 7 年 6 月 28 日発行）

- 講座「中世南部氏の歴史」『八戸ポータルミュージアムボランティア研修』
  於八戸ポータルミュージアム（令和 7 年 7 月 24 日）
- 報告「根城跡における第二次整備事業」『第 49 回 全国遺跡環境整備会議 史跡整備の現状と課題 3 -中世遺跡を中心に-』於福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（令和 7 年 11 月 6 日）
- コーディネーター「青森県の縄文時代早期を探る ～尖底土器の世界～ミニ討論会」『令和 7 年度 青森県考古学会 秋季大会』於八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（令和 7 年 11 月 15 日）
- 講座「根城跡における第二次整備の取り組み」『史跡根城ボランティアガイド自主研修』
  於八戸市博物館（令和 8 年 3 月 1 日）

【他機関からの委嘱など】

- 青森県考古学会 運営委員(平成 22 年～)
- 弘前大学共同研究「金装獅噛三累環頭大刀柄頭及び鐏形飾金具の構造と素材に関する研究」研究代表者（令和 7 年 10 月 15 日～）

野沢　江梨華（主査兼学芸員・歴史学）

【執筆活動】

- 「館所蔵本草資料 NHK 取材について」『八戸市博物館だより』68（令和 8 年 3 月 31 日発行）
- 「八戸と清心尼」『根城通信』43・44 （令和 8 年 3 月 31 日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- 講座「幕末の八戸藩」『根岸公民館市民学校歴史講座』於根岸公民館（令和 7 年 5 月 14 日）
- 講座「八戸と清心尼」『根城記念祭歴史講演会』於史跡根城の広場（令和 7 年 5 月 22 日）
- 講座「南部氏の歴史」『八戸ポータルミュージアムはっちボランティアガイド研修』
  於八戸ポータルミュージアムはっち（令和 7 年 7 月 24 日）

小林　力（主査兼学芸員・民俗学）

【執筆活動】

- 「戦後の南部煎餅屋開業ブーム」『東京と青森』686（令和 7 年 7 月 10 日発行）
- 「戦後復興とえんぶり」デーリー東北（令和 7 年 9 月 1 日発行）
- 「八戸市博物館のリニューアルに向けて」『日本民俗学』324（令和 7 年 11 月 28 日発行）
- 「明治 25 年から昭和 3 年の豊年祭に参加したえんぶり組と苗取組」
  『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- 講座「なつかしの浜通り」『浜通り高齢者教室　浜通りの歴史講座』於白銀公民館
  （令和 7 年 9 月 25 日）

高橋　怜土（主事兼学芸員・考古学）

【執筆活動】

- 「研究 6 法学部政治学系総合教育棟地点出土動物遺存体」『東京大学本郷構内の遺跡　法学部政治学系総合教育棟地点（HLS03）』共著（令和 7 年 12 月 19 日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- 講座「文献史料からみる中世の動物利用 -八戸家、三戸家を中心に-」
  『史跡根城ボランティアガイド自主研修』於八戸市博物館（令和 8 年 2 月 1 日）

渡會　紬（主事兼学芸員・民俗学）

【執筆活動】

- 「地方都市における小商売の役割とその展開 -青森市古川地区の朝市を事例に-」
  『生態人類学会ニュースレター』31（令和 8 年 3 月 15 日発行）
- 「石田家資料展示報告　-モノ語る手ぬぐい-」『八戸市博物館研究紀要』39
  （令和 8 年 3 月 27 日発行）

中村　隼人（史跡根城整備専門員・建築史）

【執筆活動】

- 「天保十五年根城図」『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）共著
- 「史跡根城跡の歴史的景観」『八戸市博物館研究紀要』39（令和 8 年 3 月 27 日発行）
- 「第 5 章総括　1，建物群の評価と調査区内の景観」『左沢楯山城跡調査報告書（17）』
  大江町埋蔵文化財調査報告書第 21 集　（令和 8 年 3 月 27 日発行）

【研究発表・講座・講演など】

- 講演「史跡根城跡の復原整備と活用」『史跡根城の広場歴史講演会』於史跡根城の広場
  （令和 7 年 7 月 20 日）
- 講演「花巻城本丸御殿の建築」『花巻市総合文化財センター企画展併催講演会』
  於花巻市総合文化財センター（令和 7 年 9 月 13 日）
- コーディネーター「公開討論『八戸家の根城入部を考える」『史跡根城の広場開場 30 年記念シンポジウム 根城・再考Ⅳ（八戸市博物館）』
- 於八戸市総合福祉会館（令和 7 年 10 月 25 日）
- 講演「三戸代官所の建築　盛岡藩における御仮屋の実態」
  『弘前大学国史研究会第 103 回例会』於弘前大学人文社会科学部（令和 7 年 11 月 16 日）
- 講座「史跡根城跡周辺の環境変化」『史跡根城ボランティアガイド自主研修』
  於八戸市博物館（令和 8 年 1 月 11 日）

【他機関からの委嘱】

- 史跡檜山安藤氏城館跡調査整備委員（能代市教育委員会）
- 青森県文化財保護指導員（青森県教育委員会）
- 史跡左沢楯山城跡保存整備検討委員会オブザーバ（大江町教育委員会）

Ⅵ. 博物館展示等リニューアル事業

１．事業概要

開館から 43 年が経過し、施設の老朽化と展示の陳腐化が進んだため、令和７～９年度の３か年でリニューアル工事を行い、展示・収蔵環境の適正化と刷新を図る。

２．コンセプト

- ハード面：安心安全で誰もが使いやすい博物館。
- ソフト面：風土に根ざす八戸の特徴的な文化を伝える博物館。

３．主なリニューアル内容

①防災・防犯設備改修

- 木製だった特別展示室（前室含む）及び講義室を防火戸に更新し、完全な防火区画とする。
- 地震による落下の危険性のある照明器具を撤去する。
- 一般来館者立入区画と、資料の保存管理区画を分ける設備を１階バックヤードに設置。

②収蔵・展示設備改修

- 常設展示室出口に自動扉を設置し、展示室全体の温湿度の保持を図る。
- 密閉性の高い展示ケースに更新し、外部環境の影響を受けにくい環境を確保する。
- 民俗収蔵庫に空調設備新設。屋外に通じる扉を気密性の高いものに更新し、風除室を設置することで、温湿度の変動を抑え、重要有形民俗文化財の収蔵に適した環境を目指す。
- 資料の劣化防止のため、調光可能で紫外線や赤外線の出ない LED 照明に更新する。
- 考古・歴史・民俗収蔵庫の扉を気密性の高い扉に更新する。
- 歴史収蔵庫の収蔵棚改修。

③常設展示室の改修

- 常設展示入口にガイダンスシアターを新設。
- 考古展示室と歴史展示室を統合し「歴史展示室」とし全面改修。
- 民俗展示室を全面改修。
- 展示ケースの更新（再掲）
- カーペット・照明設備等の更新

④特別展示室の改修

- 壁面ケース改修
- 移動式ケース新設
- 壁面クロス・カーペット・照明設備更新

⑤その他改修

- 講義室の照明設備及びカーペットの更新
- 無形資料展示室の照明設備更新
- 受付及び案内サインの更新

• 風除室床仕上げ改修

⑥施設長寿命化工事

• 空調設備及び高圧受電設備改修

４．事業スケジュール

• **令和５年度**：基本設計 委託契約先(株)トータルメディア開発研究所
• **令和６年度**：実施設計 委託契約先(株)トータルメディア開発研究所
• **令和７年度**：施設長寿命化工事、展示等リニューアル業務着工
• **令和８年度**：施設長寿命化工事、展示等リニューアル業務、照明器具 LED 化修繕、講義室音響設備更新、体験展示製作等委託（子どもとつくる「おもしろ八博」創出事業）
• **令和９年度**：からし期間を経て、リニューアルオープン

５．令和７年度事業実績

（１）リニューアル関係工事契約

①八戸市博物館展示等リニューアル業務委託

契　約　先：(株)トータルメディア開発研究所
契 約 期 間：令和 7 年 9 月 27 日～令和 9 年 6 月 30 日
契 約 金 額：399,300 千円

②八戸市博物館空調設備等改修機械設備工事

契　約　先：西浦水道建設工業(株)
契 約 期 間：令和 7 年 9 月 17 日～令和 8 年 12 月 28 日
契 約 金 額：120,450 千円

③八戸市博物館空調設備等改修電気設備工事

契　約　先：開発電業(株)
契 約 期 間：令和 7 年 9 月 18 日～令和 8 年 12 月 28 日
契 約 金 額：118,360 千円

（２）休館

令和 7 年 10 月 6 日～ 9 年 6 月 30 日（予定）。ただし以下の業務は継続した。

①受付でのインフォメーション、物販、御城印、百名城スタンプ、１階トイレ、コインロッカー

②教育普及活動のうち、学校への出前授業、講師派遣、館外で開催するイベント

③資料貸出し、資料調査受入れ、寄贈資料受入れ

（３）資料運搬・分散収蔵

工事に備え、令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月にかけて、常設展示室、及び考古・歴史・民俗収蔵庫の資料を館内の安全な部屋に退避した。大型の民俗資料は令和 7 年 12 月に、八戸通運㈱

に委託し旧中野小学校へ運搬した。

旧中野小学校（教育総務課所管）の教室を借用し、ラック 33 台や遮光カーテン等を設置し、民俗収蔵庫として整備した。

（4）展示什器等処分

リニューアル後に使用しない展示什器等の備品を、令和７年７月に産廃処分した。このため令和７年度は特別展・企画展を実施しなかった。

（5）研究室・作業室等閉鎖

空調設備工事のため、令和８年 3 月から 11 月まで、研究室及び作業室、写真撮影室、保存科学室を閉鎖し、これらの部屋で作業する職員を体験学習室に移転し業務を継続した。

これに伴い、資料貸出しと資料調査受入れ、寄贈資料受入れは、安全な実施が困難なため、令和８年４月から 12 月まで停止する。

６．完成予想図



ガイダンスシアター



常設展示室

第二部　史跡根城の広場

Ⅰ．施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 16 年	根城跡が国指定史跡になる
昭和 47 年	史跡の公有化始まる
昭和 52 年	史跡根城跡保存管理計画策定
昭和 53 年	発掘調査開始
昭和 56 年	保存管理計画改定
昭和 58 年	史跡根城跡環境整備基本設計書策定
昭和 60 年	第１次環境整備事業始まる
平成 元 年	史跡等活用特別事業始まる
平成 3 年	史跡根城跡主殿復原事業始まる(～平成５年度)
平成 6 年	史跡根城の広場落成式典(10 月 13 日)、一般開放(10 月 14 日)
平成 11 年	文化課から博物館へ管理替え
平成 23 年	国史跡追加指定
平成 30 年	第２次整備基本計画策定
令和２年	第２次環境整備事業始まる

【施設概要】

１．規　　模	敷地面積　約 130,000 ㎡
	整備面積　約　30,000 ㎡
	建築面積　主　　殿：544.1 ㎡
	付属施設：299.1 ㎡
２．構　　造	主殿(本陣)：入母屋造　栩葺
	(板蔵・上馬屋)：切妻造　長板葺
３．建物設計	財団法人文化財建造物保存技術協会
	文化財保存計画協会ほか
４．建築工事	株式会社東復建設
５．展示設計	株式会社トータルメディア開発
・施　工	研究所
６．事 業 費	5,106,041 千円
	用地買い上げ事業費　3,471,014 千円
	発 掘 調 査 事 業 費　143,956 千円
	環境整備基本計画策定委託費 2,950 千円
	本　体　建　築　費　1,488,122 千円

Ⅱ．展示

１．常設展

史跡根城跡は、本丸をはじめ中館、東善寺館などの曲輪からなる北東北を代表する中世城館であり、約18万㎡が史跡指定されている。

史跡根城の広場は、昭和53年度から12年間に及ぶ本丸などの発掘調査とその成果に基づく９年間の復原整備により完成した歴史公園である。指定地のうち、約10万㎡が整備されている。

本丸内には主殿を中心に馬屋、工房、鍛冶工房、板蔵、納屋などの建物が立体復原されているほか、主殿の広間には、正月十一日の儀式(武事始め)の様子が再現されている。



史跡根城の広場全景

なお、史跡根城の広場は、一般財団法人VISITはちのへが指定管理者として運営している。

Ⅲ 教育普及

１．小中学校等団体利用状況

No.	来場日	学校名	人数	No.	来場日	学校名	人数
1	5.1	八戸市立長者小３,４年	125	5	6.13	三沢市立三沢小６年	25
2	6.10	八戸市立白山台小３年	76	6	9.17	階上町立道仏小６年	24
3	6.11	三沢市立三沢小６年	25	7	9.19	八戸市立城下小６年	41
4	6.12	三沢市立三沢小６年	25	延べ５校　341 人			

２．指定管理者自主事業

(１)根城おもしろ講座

歴史、体験など学習の場として利用者の文化向上、そして施設の利用拡大のため、幅広い層を対象とした学習プログラムを開催。

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	4月13日(日)	体験学習 「川柳講座」	八戸川柳社 会長 瀧尻 善英 氏	10人	13
2	6月22日(日)	歴史講演会 「根城南部氏顕彰の歴史」	根城史跡保存会 会長 工藤 竹久 氏	35人	19
3	7月20日(日)	歴史講演会 「史跡根城跡の復原整備と活用」	八戸市博物館 史蹟根城整備専門員 中村 隼人 氏	35人	19
4	7月27日(日)	体験学習講座 「三色パステルアート体験」	佐々木 鮎美 氏	10人	13
5	8月24日(日)	体験学習講座 「畳コースター作り」	髙森畳工店 髙森 えりか 氏	10人	6
6	8月31日(日)	体験学習講座 「苔テラリウムを作ろう」	苔の青い森 梅森 敦子 氏	10人	19
7	9月7日(日)	歴史講演会 「根城史跡ボランティアガイド グループのあゆみとこれから」	根城史跡ボランティア ガイドグループ	35人	21
8	9月28日(日)	体験学習講座 「染物体験」	史跡根城の広場 職員	10人	5
9	10月19日(日)	体験学習講座 「お城で南部昔コを聞こう」	南部昔コキャラバン隊	20人	26
10	12月14日(日)	体験学習講座 「新年を彩るお正月飾り」	史跡根城の広場 職員	30人	10
計　151人					

（２）城の日

期　日：令和７年４月６日(日)　9:00～12:00

目　的：根城の日本100名城認定をPRするとともに、市民や観光客におもてなしをする。

内　容：本丸を無料開放し、広場職員が小袖・鎧兜を着装して来場者をお出迎えした。来場者に記念品(剪定後のケヤキや桜で作った手作りキーホルダー)を贈呈した。

来場者：98人



記念品の手作りキーホルダー

（３）さくらWeeK！

期　日：令和７年４月18日(金)～27日(日)

内　容：広場内の身延桜の開花時期にあわせ、日本100名城に認定されている「根城」を市民や市外の来場者にPRし、史跡公園としてのイメージを高めることを目的に令和６年度から開始した。期間中、本丸を無料開放し、来場者に記念品(手作りのさくらのしおり）を贈呈した。また、オリジナルグッズ販売(さくら染めストール等)とキッチンカー出店(期間中日曜日)も行った。



キッチンカー出店時の様子

来場者：2,817人

（４）鎧と小袖で記念撮影

期　日：１.令和７年５月１日(木)～６日(火・振休)

２.令和７年11月８日(土)～９日(日)　　各日10:00～16:00　※予約制

内　容：複製鎧・兜の着用と、千葉学園高等学校との連携により制作した中世衣装（小袖・袴など）を着用して記念撮影をし、往時の根城の歴史を感じ、理解を深めてもらう。※予約制　１日10組

No.	開催日	参加人数
1	５月１日(木)～６日(火・振休)　各日 10:00～16:00	70 組 194 人
2	11 月８日(土)～９日(日)　　各日 10:00～16:00	38 組 104 人

（５）根城記念祭



根城記念祭での式典

期　日：令和７年５月22日(木)　10:00～12:00
主　催：根城史跡保存会
目　的：根城を築城した南部師行公の命日にあわせ、毎年開催されてきた根城記念祭を一般公開し、八戸発祥の地「根城」に対する認識を高める。
内　容：・本丸入場無料
・記念式典　櫛引八幡宮神職による式典
・記念講演会「八戸と清心尼」（八戸市博物館 主査兼学芸員 野沢 江梨華）
・総会
来場者：101人　　※令和７年度は雨天により式典等の事業は本丸主殿内で行った。

（６）春の収穫祭～梅～収穫体験



収穫体験の様子

期　日：①令和７年６月18日(水)　10:00～10:30
長坂幼稚園　　28人
②令和７年６月19日(木)　10:30～11:00
こどもはっち　50人
内　容：史跡根城跡の発掘調査成果に基づいて植栽しているウメを活用する取り組み。
地元の園児を招待し、当時から薬用などに利用され、今も身近で食べられている梅について収穫を通じて知ってもらう。自然の恵みに感謝するとともに、根城の歴史に触れ親しんでもらう。

（７）第17回 根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会

期　日：令和７年９月22日(月)　8:30～14:00　※休場日
協　賛：根城南部家第37代当主　南部 光徹 氏
後　援：八戸市教育委員会、八戸市グラウンド・ゴルフ協会
目　的：史跡根城の広場を憩いの場として提供し、手軽にプレーできるグラウンド・ゴルフを通じて、心身の健康や出会いの親睦を深めるとともに、史跡公園としての機能充実と活性化を図る。
内　容：旧八戸藩・盛岡藩区域(青森県南・岩手県北周辺)に属するグラウンド・ゴルフ団体(または個人愛好家)が、第17回根城南部杯(第37代当主南部光徹氏より寄贈のカップ)を懸けて競技する。
参加料：1,300円(１人)
参加者：266人

（８）第30回 史跡根城まつり



郷土芸能（駒踊り）の様子

期　日：令和７年10月４日(土)　9:00～16:00

主　催：史跡根城まつり運営委員会

後　援：八戸市、八戸市教育委員会、根城史跡保存会、(一財)VISITはちのへ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、青森放送(株)、(株)青森テレビ、青森朝日放送(株)、(株)八戸テレビ放送、IBC岩手放送、めんこいテレビ、コミュニティラジオ局BeFM、テレビ岩手

内　容：八戸発祥の地「根城」の歴史と郷土への認識を深めるとともに、伝統的な文化芸能などに市民に親しんでもらうことを目的に開催している。また第30回を記念して、根城に関わりが深い岩手県遠野市の土淵しし踊り保存会にご出演いただいた。

◎本丸会場

・本丸無料開放
・根城史跡ボランティアガイドによる案内
・もじさがしラリーin根城（参加者352人）
・根城オリジナルグッズ販売
・お茶会　※チケット制、 70枚販売

◎中館会場

・開会式
・地元小中学生や地域団体による演奏会や郷土芸能などの披露
・各種出店

来場者：3,391人(本丸 1,039人)

（９）イチョウWeeK!

期　日：令和７年11月７日(金)～16日(日)　各日9:00～17:00

内　容：本丸内に根城築城当初からあったといわれる大銀杏がある。推定樹齢650年の大木で、八戸市保存樹木第３号に指定されている。史跡根城跡のシンボルといえる大銀杏を多くの市民に親しんでもらうため、無料開放期間を設けている。また期間中、各日先着10人を対象に大銀杏の手作り栞を配付した。

来場者：1,484人

(10) 第16回　史跡根城・えんぶり公演

期　日：令和８年２月18日(水)～19日(木)　各日11:00～12:00

内　容：「八戸えんぶり」会期中に、主殿等を背景にえんぶり公演を開催し、八戸の代表的な民俗芸能に親しんでもらい、根城のＰＲを図った。

・18日　賣市えんぶり組(ながえんぶり)
　　来場者292人
・19日　内丸えんぶり組
　　(どうさいえんぶり)
　　来場者204人


えんぶりの様子(賣市えんぶり組)

(11)ものづくり体験工房

期　日：随時

目　的：「根城」に関わりのある郷土の歴史を体感してもらうことを目的に通年で体験を実施している。事前予約制としているが、できる限り予約不要で受け入れている。

講　師：史跡根城の広場職員

内　容：・八幡馬の絵付けクラシックコース　2,300円　188人
・八幡馬の絵付けアレンジ(デコ)コース　2,700円　84人
・えんぶりミニミニ烏帽子作り　1,100円　16人　計　288人

３．その他の教育普及活動（八戸市博物館主催事業）

（１）中世衣装復元制作 with 千葉高 2025

史跡根城の広場では、安土桃山時代の建物を復原した本丸主殿内で、中世装束の着用体験を実施している。当初は鎧(大人用１・子ども用２)、小袖と打掛(大人用・上流女性)を用いていたが、安土桃山時代の根城に関する理解をより深めてもらうことを目的に、令和元年度から市内の千葉学園高等学校と連携して復元衣装の制作を行っている。


史蹟根城まつりでの復元衣装のお披露目

令和７年度は、史跡根城の広場にある植物のギシギシとクルミを使って木綿・綿麻の布を染色し、小袖２着と伊賀袴１着を制作した。

なお、制作は同校生活文化科(製作指導：石橋隆子教諭)の御協力により、同科３年生の生徒４名が夏休みを利用して行った。

完成した衣装は、第 30 回史跡根城まつりにおいてお披露目した。

○制作内容

・小袖　　２着（材料：平織りの綿布、染色：ギシギシ・クルミ(アルミ・鉄媒染)）
・四幅袴　１着（材料：平織りの綿布、染色：ギシギシ(鉄媒染)）

※復元型紙は『時代衣装の縫い方』、『戦国ファッション図鑑』、『貞丈雑記』を参考に制作した。

（2）史跡根城の広場開場 30 周年記念シンポジウム
「根城・再考Ⅳ −根城の始まり−」



シンポジウム会場の様子

根城は建武元年(1334）に南部師行により築城され、以降約 300 年間、八戸家の居城であったとこれまで考えられてきた。近年の研究により、そのイメージとは異なる 14 世紀代の根城南部氏の様子が明らかになりつつある。伝承により語られてきた「根城の始まり」について、最新の研究成果を報告した。



ポスター

日 時：令和 7 年 10 月 25 日(土) 13 時 00 分〜16 時 40 分
会 場：八戸市総合福祉会館（はちふくプラザねじょう）
次 第：挨拶・趣旨説明
基調講演：「鎌倉幕府御家人制の地域的展開」
七海 雅人 氏 (東北学院大学文学部歴史学科 教授)
研究報告：「文献史料からみた南部氏の根城移住」
滝尻 侑貴 氏 (八戸市立図書館 主査兼学芸員)
事例報告：「考古資料からみた根城の始まりと前史」
小保内 裕之 (八戸市博物館 館長)
公開討論：「八戸家の根城入部を考える」
司　会：中村 隼人
(八戸市博物館 史跡根城整備専門員)
登壇者：七海雅人 氏、滝尻侑貴 氏、小保内裕之
そ の 他：告知ポスター (B2 版 500 枚)・リーフレット (A4 版 20,000 枚)、
資料集 (A4 版 38 頁 500 部)刊行。
参 加 者：78 人

Ⅳ 資料管理

１．保存修理

（1）史跡根城跡環境整備事業

史跡根城跡は、５つの郭と無名の館からなる平城で、建武元年(1334)に南部師行が築城したと伝えられている中世城館である。寛永４年(1627)に遠野(現在の岩手県遠野市)に村替えとなるまでの約 300 年間、南部氏（八戸家）の居城として使われた。昭和 16 年 12 月 13 日に史跡に指定された。その後の発掘調査の成果に基づいて昭和 60 年度から環境整備事業に着手、平成 6 年に「史跡根城の広場」として共用を開始した。当初復原された建物等は、30 年以上経過して老朽化や風雨による損傷が著しく、改修及び長寿命化を行い、来場者の安全を確保する必要がある。

また、研究成果の蓄積にともなった展示解説の情報更新をはじめ、多言語化やバリアフリー対応を図り、史跡根城跡のさらなる魅力向上に努める。平成 30 年度に「史跡根城跡保存活用計画」が改訂され、令和元年度に「史跡根城跡第二次整備整備基本計画」を策定した。この基本計画に基づき、令和２年度に基本設計、令和３年度に実施設計を策定して環境整備事業を本格化させた。

令和７年度は、①防災設備改修工事(第３期)、②本丸主殿改修基本設計(第２期)、③地形測量、④大銀杏樹勢回復処置、⑤会議開催等の事業を推進した。令和７年度の関連会議・指導の開催回数は、整備活用検討委員会２回、主殿展示改修ワーキング会議３回、植生管理計画策定ワーキング会議２回、整備に係る現地指導４回である。

① 史跡根城跡本丸防災設備改修工事（第３期）

防災設備改修の第３期工事は、下記の更新などに伴う建築・電気設備の工事を実施した。

・非常用発電機設備の新設
・非常用発電機設備に伴う遮蔽用の植栽
・引込開閉基盤の更新
・ 引込開閉器盤から消火栓ポンプ制御盤までなどの幹線の新設・更新

防災設備改修は３期工事をもって完了した。



非常用発電機設備の設置状況

② 史跡根城跡本丸主殿改修基本設計（第２期）

史跡根城跡の目玉である本丸主殿の改修に向けた設計。屋根替えや耐震補強などの建築部分、及び活用空間(展示)部分の改修の基本設計を、業務委託により２期にわたって実施する。

第２期は、建築改修に係る耐震補強・主殿長寿命化の設計及び検討、活用空間（展示）のリニューアルに係る広間室礼や新調予定の展示品の設計、工事費概算を行った。

③ 史跡根城跡樹木伐採

史跡根城跡の修景及び保護、来場者・住民の安全委確保などを目的として、指定地内の危険木・支障木を中心とした伐採及び強剪定を複数年かけて行う。

令和７年度は、史跡西側に位置にする三日月平場周辺の樹木 90 本の伐採と 40 本の強剪定を行った。



樹木伐採後の様子

④ 史跡根城跡地形測量

史跡根城跡第２次環境整備事業に伴う史跡指定地未測地部分の地形等情報取得のための測量。未測地の三番堀・岡前館・沢里館地区（約 19,500 ㎡）を実施し、指定地の測量は完了した。

⑤ 史跡根城跡整備活用検討委員会



委員会の様子

史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、平成 30 年から設置。委員は、文化財等の有識者及び根城地区の代表者で構成し、６名を委嘱している。委員の任期は２年としており、委嘱期間は令和６年９月１日から令和８年８月 31 日まで。

日　時：第１回：令和７年 10 月８日(水)
　　第２回：令和８年２月 21 日(土)

概　要：第１回会議では、令和６年度事業の総括と令和７年度事業計画の説明を行うとともに、第３期防災設備改修の内容・安全確保を目的とした樹木伐採と園路整備の計画などについて説明した。第２回会議では、令和７年度事業の進捗報告と令和８年度事業計画の説明を行うとともに、今後本格化する本丸主殿改修の検討進捗について説明し、承認を得た。

委員名簿

氏　　名	所　属　等	分　野
委 員 長　工藤　竹久	八戸市文化財審議委員	考古学
副委員長　北野　博司	東北芸術工科大学 教授	史跡整備
熊谷　隆次	八戸市文化財審議委員	中世史
倉原　宗孝	岩手県立大学 教授	都市計画
宮野　則彦	日本大学 非常勤講師	木材資源学
野沢　浩司	根城地区連合町内会 会長	地区代表

⑥関連会議

○主殿展示改修検討ワーキング会議

日　時；第１回会議：令和７年８月 31 日(日)、第２回会議　令和７年 12 月 14 日(日)、
　　第３回会議　令和８年１月 17 日(土)

出席者：小野 正敏 氏（国立歴史民俗博物館名誉教授・考古学）
　　佐多 芳彦 氏（立正大学文学部教授・有職故実）
　　工藤 竹久 氏（八戸市文化財審議委員・考古学）※
　　熊谷 隆次 氏（八戸市文化財審議委員・中世史）※
　　滝尻 侑貴 氏（八戸市立図書館 主査兼学芸員）　※…史跡根城跡整備活用検討委員会委員

概　要：本丸主殿の活用空間（展示）改修の方針、方法を検討するためのワーキング会議。
　　第１回会議は、本丸を構成する諸施設の名称と機能の検討を行うとともに、主殿内各部屋の名称、広間室礼、展示品の整理について協議した。 また、第２回・３回会議

は再現展示の場面設定と再現する儀式の料理、着座する人物とその衣装の検討、復原する広間押板の飾りについて協議した。

○植生管理計画策定ワーキング会議

日　時：第１回会議：令和７年７月 10 日(木)、第２回会議：令和７年９月３日(水)

出席者：工藤 竹久 氏（八戸市文化財審議委員・考古学）※

北野 博司 氏（東北芸術工科大学教授・史跡整備）※

倉原 宗孝 氏（岩手県立大学教授・都市計画）※

大山 幹成 氏（東北大学学術資源研究公開センター植物園 助教）

山本 翔太 氏 （一戸町地域おこし協力隊、御所野縄文博物館）

※…史跡根城跡整備活用検討委員会委員

概　要：第１回会議は、計画策定の趣旨説明を行い、史跡指定地内の樹木の現況を視察した。植生把握から課題共有を図るとともに、危険木・支障木の伐採・剪定基準について意見交換を行った。 第２回会議は、植生調査の成果をもとに、植生管理計画・樹木伐採計画・園路整備計画に関する方針と実施スケジュール、修景後の植生管理の体制と全木調査リスト案などを示し、具体的な実施内容について議論した。

⑦本丸大銀杏の樹勢回復に向けた処置

「みんなで大銀杏を元気にしよう！プロジェクト」



プロジェクトの様子

史跡根城跡本丸内に築城当初からあったとされる推定樹齢650年の大銀杏は、根城のシンボルとして広く市民に知られている。近年、大銀杏の樹勢の衰弱化が指摘されており、これを受け令和４年度に樹勢回復に向けた樹木医による樹根調査を行った。樹木医の診断により土壌の段階的な改良の必要性と対策が提案されたことから、まずは３か年の計画で樹勢回復処置の取り組みを行うこととした。令和５年度から有機改良剤・活性炭・発根剤を用いた土壌改良を実施し、大銀杏の樹勢の経過を確認している。令和６年度からは、地域と史跡との関わりを深め、市民に大銀杏を通じて郷土へのさらなる愛着を持ってもらうため「みんなで大銀杏を元気にしよう！プロジェクト」として取り組んだ。

令和７年度は、前年度に引き続き地元中学校の協力を得たほか、遺跡保存活用団体である根城史跡保存会、根城史跡ボランティアガイドグループと連携した。参加者は計 18 名である。大銀杏の歴史について館職員が参加者へ解説し、その後、土壌改良作業を行った。終了後は参加者へ記念品（銀杏の葉の栞）を贈呈した。

Ⅴ．根城史跡ボランティア



激励セレモニーでの宣誓の様子

１．概要

根城史跡ボランティアガイドグループは、平成８年設立の「根城地域ボランティアセンター」の一組織から、市内初の民間ボランティアとして平成９年に発足した。史跡根城の広場をわかりやすくガイドし、根城とその領主の八戸氏の歴史を伝え、市内外へ広くPRすることが主な活動である。ボランティア会員は、４月から11月の繁忙期には休場日を除いてボランティアハウスに常駐し、来場者の希望に応じてガイドを行っている。12 月から３月までの冬期間は、原則予約制で希望者に対応している。

令和７年度は2,391人をガイドし、通算ガイド実績は138,507人となった。会員は33名(令和８年４月１日現在)。

２．根城史跡ボランティアガイド養成講座

根城史跡ボランティアガイドグループへの入門講座として、①根城の領主に関すること、②根城跡の発掘調査成果に関すること、③史跡根城の広場のガイド内容に関することの３回で構成する研修会を博物館主催で開催している。

ボランティア会員は、この養成講座を繰り返し受講しているほか、館外研修（年１回）や自主研修（年３回程度）等でスキルアップを図っている。当館でもガイドグループの各研修において企画提案、バス借上げ、会場提供等で開催協力を行っている。

No.	開催日	内容	講師	対象・定員	参加人数
1	４月12日(土)	根城南部氏の歴代当主	滝尻侑貴学芸員 (八戸市立図書館)	中学生以上・15人	13
2	４月19日(土)	発掘調査からわかった 根城跡	市川健夫学芸員 (当館)	中学生以上・15人	16
3	４月26日(土)	いっしょに歩こう！ 根城跡	高橋怜土学芸員 (当館)	中学生以上・15人	11

第三部　南郷歴史民俗資料館

令和７年度は、特別展「ゆめとあこがれのかたち－戦後日本の玩具－」を開催した。特別展では一般財団法人日本玩具文化財団所蔵の玩具等により、戦後日本の玩具について紹介した。

教育普及活動としては、南郷地区の文化財を巡る館外講座や、あそびを通して親子で文化を学べる「なんごうあそびのひろば」、しめ飾りづくりの体験講座を開催した。

その他、民俗分野の資料寄贈を受けた。

Ⅰ．施設のあらまし

【開館までのあゆみ】

昭和 54 年 12 月	建築工事完了
昭和 55 年 10 月	「南郷村立歴史民俗資料館」として開館
平成 3 年 5 月	世増地区の民家１棟資料館隣接地に移築
平成12 年 4 月	収蔵庫増築
平成 17 年 6 月	市町村合併により、八戸市博物館条例一部改正 名称を「八戸市南郷歴史民俗資料館」とし、八戸市博物館分館とする
平成 26 年 4 月	リニューアルオープン

【施設概要】

１．規　　模	敷地面積	3,597.000 ㎡
	建築面積	857.931 ㎡
	展示室面積	193.430 ㎡
	教育普及設備	35.000 ㎡
	収蔵庫面積	281.125 ㎡
	延床面積	753.315 ㎡
２．構　　造	鉄筋コンクリート造一部２階建	
３．建物設計	株式会社久慈・一戸建築事務所	
４．建築工事	東復建設株式会社	
５．建 設 費		61,522 千円
	設計費	1,530 千円
	本体建築費	47,322 千円
	設備工事費	10,879 千円
	その他	1,781 千円

Ⅱ．展示

１．常設展

【戦争と八戸】

本土決戦の想定地であった島守地区に築かれたトーチカを、模型で再現したコーナーを設けるとともに、戦争関係の資料を展示し、戦争と八戸について紹介する。



「戦争と八戸」展示風景

【青い目の人形「メリーちゃん」】

実物の展示と、映像により紹介・解説する。

【昭和のくらし】

昭和の町並みとしてタバコ屋、玩具屋、本屋（貸本）といった商店を再現し、板塀・トタン塀に設置したフォトフレームに戦後の八戸の情景を写し出し、なつかしい昭和の暮らしの情景を紹介する。



「昭和のくらし」展示風景1



「昭和のくらし」展示風景2

【懐かしの道具】

主に昭和30年～40年代当時の電化製品や日用品を展示し、戦後に大きく変化した生活文化について紹介する。また「昭和40年代の居間」のコーナーには、昔のテレビを活用したモニターを設置して、昭和の南郷地区を紹介するビデオを映写している。



「懐かしの道具」展示風景

２．特別展・企画展

<u>八戸南郷合併20周年記念</u>

<u>特別展「ゆめとあこがれのかたち－戦後日本の玩具－」</u>



期　　間	令和７年７月 19 日(土)～９月７日(日)
入館者数	636 人/47 日（13.5 人/日）
展示資料数	約 420 点
印 刷 物	ポスター（B2 判/片面カラー）　500 枚
	リーフレット（A4 判/両面カラー）25,000 枚
	招待券（７×19cm/表カラー、裏モノクロ）700 枚
協　　力	一般財団法人 日本玩具文化財団

令和７年は、南郷村と八戸市が合併してから 20 周年となる記念の年で、当館ではその記念行事として、一般財団法人日本玩具文化財団との企画立案により、当財団所蔵玩具の特別展を開催した。

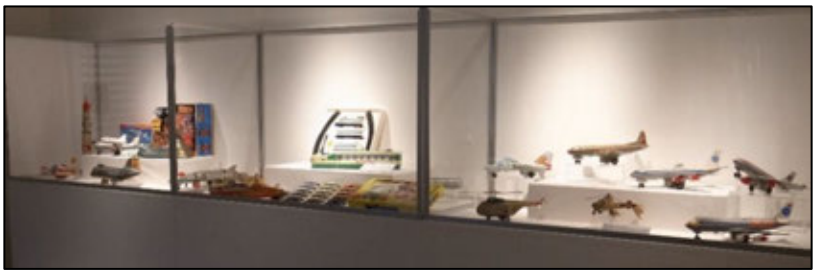
玩具は、人間が遊びのために作り出した道具であり、世界中で古くから存在している。日本では近代以降、欧米文化から影響を受けた玩具が国内でつくられるようになり、やがて海外へ輸出されるようになった。昭和 30 年代からは、大流行する玩具が現れたり、漫画やテレビ番組を題材にした玩具が人気を集めたりするようになった。そして現在に至るまで、日本の玩具は国内外で広く流通し、人びとに愛好されている。



展示風景1



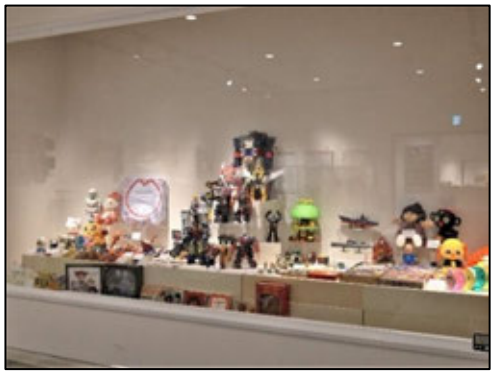
展示風景2



展示風景3

本展では戦後日本の玩具を、子どもたちとともに形づくられてきた大切な文化として紹介した。

展示構成は基本的に年代順とし、戦後日本の玩具が、ブリキやセルロイド製からプラスチック製へ、ゼンマイやフリクション動力から電動へと移り変わる流れを軸にして、戦後流行した玩具やボードゲーム、着せ替え人形、そして漫画やアニメ、アイドルなどのキャラクター玩具を組み入れ、これにカラフルな子ども用の弁当箱を展示に加えた。



展示風景4

また、本展について理解を深めていただけるように、当財団と協力して年表・解説パネルを製作・展示した。

併催行事については、当館隣りの島守コミュニティセンターを会場に、講演会「日本のおもちゃ」と、「むかしの遊び体験」と題して、日本の伝統独楽回し芸の実演及び遊び体験を開催した。また、「動くおもちゃ実演」を当館の玄関ロビーで実施し、昔のゼンマイ仕掛けのブリキ玩具を実際に動かして、来館者にご覧いただいた。



展示風景5

会期中は、幅広い年齢層の方がたがご来館した。年齢別では 30 才代から 50 才代が全体の半分で、また、家族でいらした方が全体の７割を占めた。来館者のお住まい

は、市内の方が６割であったが、遠方では東京都をはじめ、岐阜県、愛知県の方もおられた。展示室では、ブリキ玩具をじっくり見ている子どもや、親子やお孫さん連れで展示されているキャラクターや人形、流行の玩具をお互いに言い当てたりしている姿がよく見受けられた。

来館者からは、「本当に楽しかった、とても満足した。」「昔のキャラクターがなつかしかった。」「展示を見て若返った。」など、たくさんの感想がアンケートに寄せられた。



展示風景6

◎特別展併催行事

①講演会「日本のおもちゃ」

日　時　令和７年７月 19 日(土) 10：00 ～ 12：00
講　師　一般財団法人 日本玩具文化財団
　　理事長　佐藤 豊彦 氏
会　場　八戸市島守コミュニティセンター
　　２階会議室
　　要申込／参加無料
参加者　14 人



講演会

②「むかしの遊び体験会」

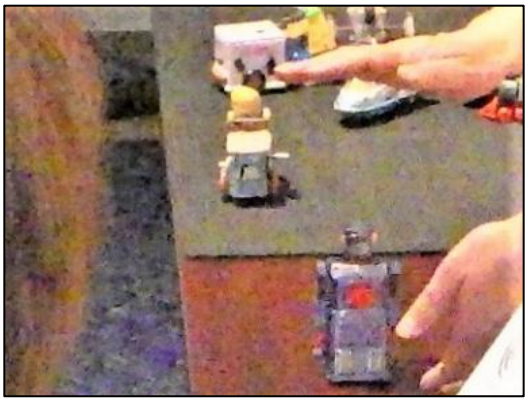
日　時　令和７年８月 23 日(土) 10：00 ～15：00
協　力　一般財団法人 日本玩具文化財団
　　日本独楽博物館（名古屋市・私立）
実演者　日本独楽博物館
　　館長　藤田 由仁 氏
会　場　八戸市島守コミュニティセンター
　　大ホール
　　参加自由／無料
参加者　44 人



むかしの遊び体験会 実演

③「動くおもちゃ実演」

日　時　令和７年８月 11 日(月・祝)
　　11:00 ～12:00/14:00～15:00
協　力　一般財団法人 日本玩具文化財団
実演者　当館職員
会　場　当館ロビー
参加自由／入場有料



動くおもちゃ 実演

④ギャラリートーク

日　時　令和 7 年 7 月 20 日(日)・8 月 31 日(日)
　　各日 11：00 ～ 12：00／14：00 ～ 15：00
講　師　下村資料館長
会　場　八戸市南郷歴史民俗資料館　展示室 F・特別展示室
　　参加自由／入場有料
参加者　延べ20人

ミニコレクション展「器（うつわ）」



期　　間　令和 7 年 11 月 29 日(土)～令和 8 年 3 月 15 日(日)
　　前期：11 月 29 日(土)～ 1 月 25 日(日)
　　後期： 1 月 31 日(土)～ 3 月 15 日(日)
　　展示一部入替： 1 月 27 日(火)～ 1 月 30 日(木)
　　※期間中、特別展示室のみ閉室

昭和 55 年 (1980)旧南郷村の郷土資料館として開館した南郷歴史民俗資料館は、南郷地区をはじめ八戸市や近隣市町村にゆかりの民俗資料を約 1 万点収蔵している。ミニコレクション展では、館蔵資料の中からテーマごとに関連資料を展示している。

令和 7 年度は「器」として使用された資料を選び出して紹介した。陶磁器や漆器、桶、かつて南郷の旧世増地区で、イタヤカエデを材料に作られていた「世増カコベ」と呼ばれる籠類、そして鉄瓶やガラス製の瓶などを展示した。



展示風景1



展示風景2

Ⅲ．教育普及

※令和７年度の出前授業・講師等派遣は 61 頁の「職員の調査研究活動」を参照

１．小中学校等団体利用状況

No.	来館日	学校名	人数	内容	職員
1	5.2	八戸市立田面木小学校３・４年生	60	解説	下村館長
2	7.2	八戸市立島守小学校１・２年生	7	解説	下村館長
3	9.26	八戸市立八戸小学校４年生	40	解説	下村館長
4	11.7	八戸市立町畑小学校３年生	33	解説・体験	下村館長ほか
5	3.11	八戸市立島守小学校３年生	3	自由見学	-
					５校　143 人

２．その他学校等団体利用状況

No.	来館日	学校名	人数	内容	職員
1	6.13	白山台公民館　高齢者教室	23	解説	下村館長
2	8.8	ミライフルキッズデイサービス八戸中居林	13	自由見学	-
3	8.28	福寿草デイサービスセンター	6	自由見学	-
4	10.21	八戸市鷗盟大学	67	解説	下村館長
5	11.12	八戸学院大学短期大学部　介護福祉学科	17	自由見学	-
6	11.20	岩手県一戸町奥中山地区センター	22	自由見学	下村館長
					延べ　148 人

３．催事運営

（１）民俗講座

No.	開催日	講座内容	講師	定員	参加人数
1	５月９日(金)	南郷一周めぐり(館外講座)	下村館長	20 人	16 人
2	６月６日(金)	南郷わき水めぐり(館外講座)	下村館長	20 人	14 人
3	９月 19 日(金)	島守四十八社めぐり(館外講座)	下村館長	20 人	15 人
4	11 月 13 日(木)	南郷文化財めぐり(館外講座)	下村館長	20 人	12 人
5	12 月 14 日(日)	しめ飾りづくり(体験講座)	滝沢 カチ氏	10 人	12 人
					延べ　69 人参加

（2）なんごうあそびのひろば　場所：島守コミュニティセンター

No.	開催日	講座内容	講師（全て外部講師）	対象定員	参加者
1	5月25日(日)	南部菱刺しの光る お手玉づくり ～蓄光糸で刺した模様が 暗闇で光るよ～	いちゃりば・おはな 松川 美紀子氏	親子10組	5組(7人)
2	6月22日(日)	けん玉教室	エイトスパイクス 鹿糠 駿平氏	親子10組	8組(26人)
3	10月4日(土)	葉っぱであそぶ スタンプアート	Feel　浅川 ふさこ氏	親子10組	2組(5人)
4	11月23日(日)	作ってあそぶスノードーム	Lien　長塚 佳子氏	親子10組	4組(13人)
					延べ19組　51人参加

Ⅳ．資料管理

１．部門別収蔵資料点数（令和8年3月31日現在）

部門	考古	歴史	民俗	総点数
令和7年度	0	0	158	158
総点数	1,822	5,905	11,438	19,165

２．寄贈資料

資料名	点数	寄贈者（敬称略）		寄贈年月日
《民俗資料》				
日章旗	1	厚生労働省社会・援護局事業課 ※同省保管の引き取り手のない遺留品の引取希望調査による	－	7.5.31
半纏、手帳、書籍等	51	長瀬　和江	八戸市	7.6.3
記念品、書類、玩具等	38	岡前　壽子	八戸市	7.7.31
玩具、ゴム長靴	54			7.9.25
世増ダム関係資料一式(記録写真・フィルム、ビデオテープ等)	14	清算法人八戸平原土地改良区	八戸市	7.9.5

３．資料の利用状況

（１）写真資料利用（映像・図版含む）

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可日	利用先
1	株式会社 晶文社	狐森遺跡出土土偶	1	同社の既出版書籍の掲載画像を利用	7.4.17	同社出版予定の書籍に掲載
2	株式会社デーリー東北新聞社	(看板)「空襲警報などの伝達方法」	1	写真データ貸与・掲載	7.7.5	特集記事「八戸空襲から 80 年」
3	株式会社デーリー東北新聞社	青い目の人形「メリーちゃん」	1	写真データ貸与・掲載	7.9.9	特集記事「戦後 80 年 戦争と青少
4	一般社団法人日本考古学協会 2025 年度新潟大会実行委員会	荒谷遺跡出土玉類	1	青森県立郷土館発行図録の掲載画像を利用	7.10.2	予稿集への掲載・口頭発表スライドに使用

（２）実物資料

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	期間
1	三内丸山遺跡センター	畑内遺跡出土クマ形石製品ほか	5	借用・展示	7.6.25～7.11.14
2	是川縄文館	狐森遺跡出土土偶	1	借用・展示	7.9.28～7.12.19
3	青森テレビ八戸支社	書籍「島守弁ミニ事典」	1	借用・取材	7.9.28～7.12.19
4	デイサービスセンターなごむ	回想法セット「洗濯と裁縫」「昔の仕事着」	2	借用	8.3.10～8.3.13

（３）資料調査ほか

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	利用日	利用先
1	三内丸山遺跡センター	松石橋遺跡出土土器ほか	5	熟覧・写真撮影	7.5.23	特別展の借用希望資料調査
2	個人	捕鯨関係の写真	2	熟覧	7.5.28	調査
3	是川縄文館	狐森遺跡出土土偶	1	熟覧・写真撮影	7.9.14	企画展の借用希望資料調査
4	個人	黄檗遺跡出土爪形文土器	231	熟覧・写真撮影	7.9.23	研究
5	三内丸山遺跡センター	畑内遺跡出土石器・土偶・玦状耳飾	7	実見・写真撮影	7.9.30	特別展の借用希望資料調査

Ⅴ．調査研究

１．職員の調査研究活動

下村 恒彦（館長・民俗学）

【研究発表・講座・講演など】

- 講座「南郷の信仰」『根岸公民館歴史講座』於根岸公民館(令和 7 年 12 月 10 日)

第四部　運営・資料

Ⅰ．運営

１．博物館組織及び職員構成

館　長　　小保内　裕之（考古学）

【八戸市博物館】
- 副　館　長　佐々木　禎
- 主　　査　米田　司
- 主　　査　横沢　杏奈
- 主査兼学芸員　市川　健夫（考古学）
- 主査兼学芸員　野沢　江梨華（歴史学）
- 主査兼学芸員　小林　力（民俗学）
- 主事兼学芸員　高橋　怜土（考古学）
- 主事兼学芸員　渡會　紬（民俗学）
- 博物館事務員　玉川　順子
- 博物館事務員　蝦名　孝子
- 博物館事務員　淵沢　裕子
- 博物館事務員　佐々木　和香
- 博物館事務員　尾形　美翔
- 史跡根城整備専門員　中村　隼人
- 博物館作業員　安保　泉里
- 博物館作業員　橘　侑子
- 受付・解説員　４名（委託業者）

【南郷歴史民俗資料館】
- 館　　長　下村　恒彦（民俗学）
- 主　　査　津久家　崇博
- 南郷歴史民俗資料館事務員　福田　敏子
- 南郷歴史民俗資料館事務員　髙木　陽子
- 南郷歴史民俗資料館事務員　松倉　光潤
- 南郷歴史民俗資料館事務員　村上　由香理

※令和７年４月１日現在

令和８年度　転入（R７.４.１）　八戸市博物館　　副館長　　佐々木　光
　　主査　　曽我　章子
　　転出（R７.３.31）　佐々木　禎、横沢　杏奈（博物館）
　　退職（R７.３.31）　安保　泉里、淵沢　裕子（博物館）

２．博物館協議会

【第１回】

日　時：令和７年７月３日(木)　14：00～16：00
場　所：八戸市博物館　体験学習室
案　件：令和６年度事業実施報告について・令和７年度事業計画について
　　その他

【第２回】

日　時：令和８年２月 10 日(火)　14：00～16：00
会　場：八戸市博物館　体験学習室
案　件：令和７年度事業実施報告について・令和８年度事業計画について
　　その他

【博物館協議会委員名簿】（任期：令和７年６月１日～令和９年５月 31 日）

氏　　名	所　属　等
会　長　滝尻　善英	青森県文化財保護協会　会長
副会長　古里　淳	元 八戸市博物館長
元沢　弘志	根城史跡ボランティアガイドグループ　代表
川守田　礼子	八戸工業大学　感性デザイン学部　教授
鳥谷部　隆雄	デーリー東北新聞社　論説委員長
平間　恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット　代表理事
里村　由紀子	八戸聖ウルスラ学院幼稚園　園長
豊巻　裕史	八戸市立大久喜小学校　校長
大野　勉	八戸市立中沢中学校　校長
葛西　浩子	公募

３．予算の概要

【博物館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額(千円)	比率(%)	備　　考
運営経費		77,285	52.7	
内訳	一般管理事務	29,705	20.3	会計年度任用職員報酬・謝礼・委託料・需用費
	施設維持管理	47,580	32.5	修繕料・委託料
展示活動経費		69,253	47.3	
内訳	各種展覧会体験講座等	2,965	2.0	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集･保存･調査	53,598	36.6	会計年度任用職員報酬・収蔵資料修復・委託料
	指定・認定文化財保存活用	12,690	8.7	会計年度任用職員報酬・委託料
計		146,538	100.0	

【根城の広場】

予算内容		予算額(千円)	比率(%)	備　　考
管理運営経費		146,620	100.0	
内訳	環境整備	93,400	63.7	委託料・環境整備工事
	施設維持管理	51,679	35.3	修繕料・指定管理料
	一般管理費	1,541	1.0	需用費
計		146,620	100.0	

【南郷歴史民俗資料館】※正職員人件費は含まない

予算内容		予算額(千円)	比率(%)	備　　考
運営経費		14,611	60.4	
内訳	一般管理事務	9,254	38.3	会計年度任用職員報酬・需用費・役務費
	施設維持管理	5,357	22.1	修繕料・委託料
展示活動経費		9,576	39.6	
内訳	各種展覧会体験講座等	5,674	23.5	特別展、企画展経費・体験学習開催経費
	文化財収集･保存･調査	3,902	16.1	委託料
計		24,187	100.0	

Ⅱ．資料

１．入館者利用状況

【博物館】

	博物館単独券						共通券						割引券		免除	市内小中	市外小中	入館者総数	開館日数	平均入館者	前年度入館者
	個人			団体			個人			団体			高齢者障が	その他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計									
4月	397	8	405	70	0	70	343	9	352	0	0	0	81	18	89	49	19	1,083	28	38.7	1,017
5月	229	12	241	22	0	22	711	24	735	25	0	25	64	13	389	109	56	1,654	27	61.3	1,973
6月	208	10	218	42	0	42	571	6	577	0	0	0	28	36	97	114	93	1,205	26	46.3	1,142
7月	218	7	225	20	0	20	642	16	658	25	0	25	80	21	85	27	82	1,223	28	43.7	1,722
8月	382	69	451	0	0	0	1,011	62	1,073	0	0	0	59	28	163	44	169	1,987	29	68.5	2,451
9月	206	12	218	0	0	0	579	40	619	0	0	0	39	21	177	293	94	1,461	25	58.4	2,550
10月	23	2	25	0	0	0	111	0	111	43	0	43	7	11	777	15	0	989	5	197.8	2,536
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	2,278
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	547
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	780
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1,483
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1,296
計	1,663	120	1,783	154	0	154	3,968	157	4,125	93	0	93	358	148	1,777	651	513	9,602	168	57.2	19,775

【根城の広場】

	根城の広場単独券						共通券						博共通						博共通割引券		割引券		免除	市内小中	市外小中	入場者総数	開場日数	平均入場者	前年度入場者
	個人			団体			個人			団体			個人			団体			高齢障がい	その他	高齢障がい	その他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計	一般	大・高	計											
4月	308	9	317	0	0	0	148	5	153	0	0	0	174	9	183	0	0	0	9	10	42	5	2,862	12	23	3,616	28	129.1	4,125
5月	682	11	693	91	0	91	244	4	248	0	0	0	455	15	470	25	0	25	28	11	56	8	291	149	64	2,134	27	79.0	2,366
6月	439	2	441	0	0	0	144	1	145	0	0	0	394	6	400	0	0	0	13	29	31	16	144	7	93	1,319	26	50.7	1,580
7月	524	9	533	29	0	29	191	11	202	0	0	0	418	15	433	25	0	25	18	13	11	12	76	16	52	1,420	28	50.7	1,368
8月	837	40	877	0	0	0	296	16	312	0	0	0	667	60	727	0	0	0	30	22	47	6	191	23	232	2,467	29	85.1	2,119
9月	526	14	540	0	0	0	154	12	166	0	0	0	395	38	433	0	0	0	16	18	24	10	221	156	51	1,635	26	62.9	1,804
10月	940	21	961	76	0	76	29	2	31	0	0	0	79	0	79	43	0	43	4	5	40	14	3,487	4	8	4,752	28	169.7	4,271
11月	416	14	430	43	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	5	1,568	15	13	2,098	26	80.7	2,603
12月	155	15	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	46	3	2	231	23	10.0	334
1月	134	9	143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	18	0	3	173	24	7.2	321
2月	784	34	818	23	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	8	169	5	11	1,160	24	48.3	1,135
3月	564	50	614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	7	46	4	19	717	27	26.6	796
計	6,309	228	6,537	262	0	262	1,206	51	1,257	0	0	0	2,582	143	2,725	93	0	93	118	108	436	102	9,119	394	571	21,722	316	68.7	22,822

【南郷歴史民俗資料館】

	個人			団体			割引券		免除	市内小中	市外小中	入場者総数	開場日数	平均入場者	前年度入場者
							高齢障がい	その他							
月	一般	大・高	計	一般	大・高	計									
4月	32	2	34	0	0	0	6	0	5	2	4	51	28	1.8	48
5月	28	2	30	0	0	0	4	0	46	3	91	174	27	6.4	105
6月	21	2	23	0	0	0	13	0	71	1	4	112	26	4.3	142
7月	90	2	92	0	0	0	17	0	51	2	32	194	24	8.1	132
8月	183	16	199	0	0	0	52	0	78	17	44	390	29	13.4	274
9月	66	4	70	0	0	0	19	0	52	0	55	196	21	9.3	117
10月	55	2	57	0	0	0	14	0	76	2	3	152	28	5.4	138
11月	30	16	46	22	0	22	8	0	54	1	42	173	26	6.7	91
12月	9	0	9	0	0	0	1	0	20	0	4	34	23	1.5	36
1月	13	1	14	0	0	0	0	0	3	0	3	20	24	0.8	26
2月	26	0	26	0	0	0	15	0	8	3	5	57	24	2.4	43
3月	50	2	52	0	0	0	12	0	13	5	18	100	27	3.7	77
計	603	49	652	22	0	22	161	0	477	36	305	1,653	307	5.4	1,229

【開館時から年度ごとの累計（入館者数）】（単位：人）

年　度	博物館	根城の広場	年　計
昭和	42,113		42,113
59	32,807		32,807
60	24,019		24,019
61	22,282		22,282
62	23,728		23,728
63	21,311		21,311
平成元	23,579		23,579
2	21,726		21,726
3	21,551		21,551
4	21,310		21,310
5	21,373		21,373
6	28,456	21,984	50,440
7	34,991	31,664	66,655
8	34,870	20,130	55,000
9	22,130	13,636	35,766
10	22,042	15,757	37,799
11	22,450	14,718	37,168
12	27,610	13,096	40,706
13	26,064	16,686	42,750
14	32,504	16,394	48,898
15	28,299	19,276	47,575
16	22,726	10,787	33,513
17	30,780	15,474	46,254
18	25,050	14,922	41,792
19	35,332	17,291	54,792
20	22,976	15,625	40,497
21	28,327	18,452	48,603
22	19,447	17,265	38,981
23	21,027	15,821	38,778
24	15,310	17,117	34,974
25	16,602	16,944	35,098
26	20,478	17,901	43,766
27	18,771	18,273	39,540
28	19,100	15,780	37,483
29	19,461	18,309	42,539
30	18,486	17,469	39,451
令和元	18,894	22,563	44,138
2	11,230	9,608	23,798
3	11,818	10,115	23,162
4	14,520	21,296	37,980
5	18,712	23,697	43,638
6	19,775	22,822	43,826
7	9,602	21,722	32,977
合 計	993,639	562,594	1,604,180

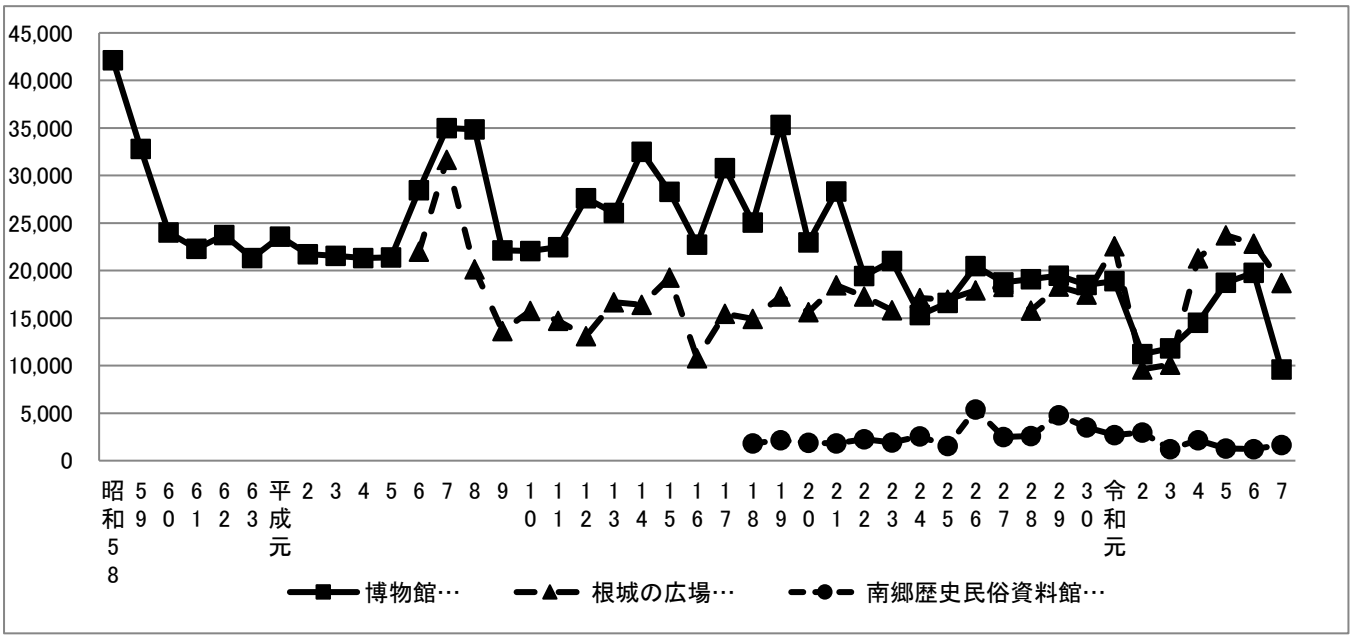
南郷歴史民俗資料館
1,820
2,169
1,896
1,824
2,269
1,930
2,547
1,552
5,387
2,496
2,603
4,769
3,496
2,681
2,960
1,229
2,164
1,273
1,229
1,653
47,947

※博物館は昭和 58 年 7 月開館

史跡根城の広場は平成 6 年 10 月開場

南郷歴史民俗資料館は昭和 55 年南郷村立で開館

リニューアル工事のため、博物館は令和 7 年 10 月 6 日から休館中



２．条例

○八戸市博物館条例　（昭和58年３月30日条例第４号）

（この条例の趣旨）

第１条　この条例は、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、博物館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

（名称及び位置）

第２条　博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

（１）　名称　八戸市博物館

（２）　位置　八戸市大字根城字東構35番地１

２　八戸市博物館に分館を置き、その名称及び位置は、次のとおりとする。

（１）　名称　八戸市南郷歴史民俗資料館

（２）　位置　八戸市南郷大字島守字小山田７番地１

３　八戸市南郷歴史民俗資料館の附属施設として、南郷民具展示館を置く。

４　八戸市博物館の野外学習の場として、八戸市大字根城字根城47番地に八戸市史跡根城の広場を設ける。

（指定管理者による管理）

第３条　八戸市史跡根城の広場（以下「根城の広場」という。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第４条　指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

（１）　根城の広場で行う事業の企画及び実施に関する業務

（２）　根城の広場の施設、設備等の維持管理に関する業務

（３）　その他八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める業務

（指定管理者が行う管理の基準）

第５条　指定管理者は、法令、条例、条例に基づく規則その他教育委員会が定めるところに従い、根城の広場の管理を行わなければならない。

（入館料等）

第６条　八戸市博物館及び八戸市南郷歴史民俗資料館の入館料並びに根城の広場の本丸（別表において「根城本丸」という。）の入場料は、別表のとおりとする。ただし、特別な資料を展示する場合の入館料は、教育委員会が別に定めることができる。

２　前項に規定する入館料及び入場料（以下「入館料等」という。）は前納しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（入館料等の還付）

第７条　既納の入館料等は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧できなくなったとき、その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館料等の減免）

第８条　教育委員会は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、その申請により入館料等を減免することができる。

（利用の拒否等）

第９条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その利用を拒否し、現に行っている利用の中止を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。

（１）　感染性疾患があると認められる者

（２）　他の利用者の迷惑となり、又は公益を害するおそれがあると認められる者

（３）　係員の指示に従わない者

（４） その他管理上利用を不適当と認める者

（損害賠償）

第10条　八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城の広場（以下「博物館等」という。）の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

（博物館協議会）

第11条　博物館等の円滑な運営を図るため、八戸市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

２　協議会の委員の定数は、15人以内とする。

３　協議会の委員は、学校教育若しくは社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

４　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

５　協議会の運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（史跡根城跡整備活用検討委員会）

第12条　史跡根城跡の適切な保存及び活用の推進を図るため、八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

２　委員会は、史跡根城跡の整備に関する計画の策定及び事業の推進に関し必要な事項について調査及び検討をし、教育委員会に対して意見を述べるものとする。

３　前２項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（委任事項）

第13条　この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則（令和５年３月24日条例第16号）この条例は、令和５年４月１日から施行する。

別表（第６号関係）

入館料及び入場料

区分		個人	20人以上の団体（1人につき）
		円	円
八戸市博物館	一般	250	130
	大学生・高校生	150	80
八戸市南郷歴史民俗資料館	一般	150	100
	大学生・高校生	100	50
根城本丸	一般	250	130
	大学生・高校生	150	80

備考

１　中学生以下の者は、無料とする。

２　共通券により八戸市博物館及び根城本丸に入館し、及び入場しようとする者（個人に限る。）の入館料の合計額は、一般400円及び大学生・高校生240円とする。

○八戸市博物館条例施行規則　（昭和 61 年 11 月 5 日教育委員会規則第 13 号）

（この規則の趣旨）

第１条　この規則は、八戸市博物館条例（昭和 58 年八戸市条例第４号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（開館時間及び開場時間）

第２条　八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場の本丸（以下「根城本丸」という。）の開館時間又は開場時間は、午前９時から午後５時までとする。

２　前項の規定にかかわらず、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要がると認めるときは、開館時間及び開場時間を変更することができる。ただし、根城本丸にあっては、指定管理者（条例第３条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開場時間を変更することができる。

（休館日及び休場日）

第３条　八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び根城本丸（以下「博物館等」という。）の休館日又は休場日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館し、若しくは休場することができる。

（１）　月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）

（２）　国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

（３）　12 月 27 日から翌年１月４日まで

２　前項の規定にかかわらず、根城本丸にあっては、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休場日に開場し、又は臨時に休場日以外の日に開場しないことができる。

（入館料及び入場料の納付）

第４条　博物館等の展示資料を観覧しようとする者は、入館券又は入場券の交付を受ける際に入館料又は入場料（以下「入館料等」という。）を納付しなければならない。

（入館料等の還付）

第５条　災害その他不可抗力により展示資料の観覧ができなくなったときは、条例第７条ただし書の規定により、既納の入館料等の全額を還付する。

２　入館料等の還付を受けようとする者は、入館料等還付申請書（別記第１号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

３　教育委員会は、前項の申請により入館料等の還付を決定したときは、入館料等還付決定通知書（別記第２号様式）により当該申請者に通知する。

（入館料等の減免）

第６条　条例第８条の規定により減免する入館料等の額は、次のとおりとする。

（１）　当市が主催する行事に使用するとき　入館料等の全額

（２）　特別支援学校の高等部が教育課程に基づく学習のため団体で入館し、又は入場するとき入館料等の全額

（３）　身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあっては、介護人１人を含む。）が入館し、又は入場するとき入館料等の５割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（４）　市内に住所を有する 65 歳以上の者が入館し、又は入場するとき　入館料等の５割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを

切り上げた額とする。）

（５） 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき　入館料等の全額

（６） 当市が実施する公共交通活用型企画乗車券事業に係る博物館・史跡根城の広場バスパック施設入館料等割引券の提出を受けたとき　入館料等の５割に相当する額（当該相当する額に 10 円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）

（７） その他教育委員会が特に必要があると認めるとき　教育委員会が定める額

（減免の申請）

第７条　入館料等の減免を受けようとする者は、入館料等減免申請書（別記第３号様式）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前条第３号から第６号までの規定により減免を受けようとする者については、この限りでない。

２　教育委員会は、前項の申請により入館料等の減免を決定したときは、入館料等減免決定通知書（別記第４号様式）により当該申請者に通知する。

（行為の禁止）

第８条　八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館及び八戸市史跡根城の広場（以下この条において「八戸市博物館等」という。）においては、次に掲げる行為をしてはならない。

（１） 八戸市博物館等の設備等を損傷し、又は滅失すること。

（２） 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。

（３） 許可なくして展示資料等の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。

（４） 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。

（５） 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。

（６） 八戸市博物館等の施設及び敷地内において喫煙すること。

（７） 所定の場所以外において火気を使用すること。

（８） その他八戸市博物館等の管理に支障がある行為

２　前項第３号の許可を受けようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記第５号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

３　教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に資料特別利用許可書（別記第６号様式）を交付する。

（資料の寄託）

第９条　博物館等に資料の寄託をしようとする者は、当該資料に資料寄託申請書（別記第７号様式）を添えて教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の申請書を受理した場合において、資料の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に資料受託書（別記第８号様式）を交付する。

（寄託資料の免責）

第 10 条　教育委員会は、寄託を受けた資料が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっても、その賠償の責めを負わない。

（委任事項）

第 11 条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が定める。

附　則（令和５年３月 29 日教委規則第３号）この規則は、令和５年４月１日から施行する。

別記

第１号様式（第５条関係）省略
第２号様式（第５条関係）省略
第３号様式（第７条関係）省略
第４号様式（第７条関係）省略
第５号様式（第８条関係）省略
第６号様式（第８条関係）省略
第７号様式（第９条関係）省略
第８号様式（第９条関係）省略

○八戸市博物館協議会規則　（昭和58年３月31日教育委員会規則第８号）

（趣旨）

第１条　この規則は、八戸市博物館条例（昭和58年八戸市条例第４号）第11条第５項の規定に基づき、八戸市博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第２条　協議会には、会長及び副会長各１人を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

３　会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第３条　協議会は、会長が招集する。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う。

２　協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

３　協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（資料の提出の要求等）

第４条　協議会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

（その他の事項）

第５条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附　則（平成24年３月29日教委規則第３号）この規則は、平成24年４月１日から施行する。

○八戸市博物館組織等規則　（昭和58年３月31日教育委員会規則第７号）

（この規則の趣旨）

第１条　この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条第１項の規定に基づき、八戸市博物館（以下「博物館」という。）の組織等について必要な事項を定めるものとする。

（分掌事務）

第２条　博物館は、おおむね次に掲げる事務を分掌する。

（１）　博物館の管理に関すること。

（２）　八戸市南郷歴史民俗資料館の管理に関すること。

（３）　博物館事業に関すること。

（４）　博物館協議会に関すること。

（５）　史跡根城の広場に関すること。

（６）　その他庶務一般に関すること。

（職制）

第３条　博物館に館長その他必要な職員を置く。

２　博物館には、前項のほか、副館長、南郷歴史民俗資料館館長、参事、副参事、主幹、主査、主事その他の職員を置くことができる。

（職務）

第４条　館長は、上司の命を受けて博物館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

２　副館長は、上司の命を受けて館長を補佐し、当該職員を指揮監督する。

３　南郷歴史民俗資料館館長（以下「分館長」という。）は、上司の命を受けて南郷歴史民俗資料館の業務を掌理し、当該職員を指揮監督する。

４　参事、副参事及び主幹は、上司の命を受けて博物館の事務に関する特定の事務に従事し、当該職員を指揮監督する。

５　主査は、上司の命を受けて当該分掌事務に従事し、当該職員を指揮監督する。

６　主事その他の職員は、上司の命を受けて当該事務に従事する。

（事務の代決又は代行）

第５条　館長、副館長及び分館長が出張その他の理由により不在であるときは、当該上席の職員がその事務を代決又は代行することができる。

（館長の専決事務）

第６条　館長は、次に掲げる事務を専決することができる。

（１）　八戸市博物館条例（昭和58年八戸市条例第４号）第９条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則（昭和61年八戸市教育委員会規則第13号）第８条（行為の禁止）第３項の規定に基づく博物館の管理に関する事務を行うこと。

（２）　八戸市教育委員会事務取扱規程（昭和39年八戸市教育委員会訓令第１号）第６条（課長の専決事務）各号に掲げる事務を行うこと。

第７条　削除

（分館長の専決事務）

第８条　分館長は、八戸市博物館条例第９条（利用の拒否等）及び八戸市博物館条例施行規則第８条（行為の禁止）第３項の規定に基づく所管の分館の管理に関する事務を専決することができる。

（事務の取扱い）

第９条　事務の取扱いについては、この規則に定めるもののほか、八戸市教育委員会事務局の事務取扱いの例による。

附　則（令和６年３月29日教委規則第10号）この規則は、令和６年４月１日から施行する。

八戸市博物館年報　第 43 号　令和 7 年度

令和 8 年 6 月 17 日

編集・発行　八戸市博物館

〒039-1166　青森県八戸市大字根城字東構 35-1
TEL (0178)44-8111　FAX (0178)24-4557